KIORITZ

取 扱 説 明 書

共立農用リフト付電動作業機
KWE103



⚠ 注意

本機は個人農家向けの農用リフト付電動作業機です。
高所作業車とは異なりますので高所における工事、点検、補修等の作業には使用しないでください。

⚠ 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

はじめに

お使いになる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

このたびは、***共立農用電動作業機*** をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は、本製品の取り扱い方法と、使用上の注意事項について記載しています。
本製品をご使用いただく前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容を理解して正しくお使いください。
また、お読みになった後も、この取扱説明書を製品に近接して、いつもお手元に置いて、必要に応じて活用してください。

お願い

- ●電動作業機を初めて使用する人は、お買い求めの販売店やＪＡから作業注意事項について説明を受けてください。
- ●この取扱説明書の内容が理解できるまで、本製品をご使用にならないでください。
- ●本製品を貸したり、譲渡するときは、この取扱説明書を本製品に添付してお渡しください。
- ●この取扱説明書および安全銘板を、紛失または損傷された場合は、速やかにお買上げいただいた販売店・ＪＡにご注文ください。
- ●この取扱説明書には、安全に作業をしていただくために、**「安全に作業をするために必ずお守りください」**を記載しています。ご使用前に必ずお読みください。
- ●ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買上げいただいた販売店・ＪＡへご相談ください。

おことわり

- ●本製品は改良のため､使用部品などを変更することがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ●本書の内容は、作成にあたり万全を期しておりますが、万一の誤りや記載もれなどが発見されてもただちに修正できないことがあります。

説明記号の見方

⚠危険	その警告文に従わなかった場合、死亡又は重傷を負うことになるものを示します。
⚠警告	その警告文に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠注意	その警告文に従わなかった場合、けがを負うおそれのあるものを示します。
取扱いの注意	誤りやすい操作に対する注意を示します。守らないと、機械の破損や、故障の原因になります。

本製品のオーバーホール期限について

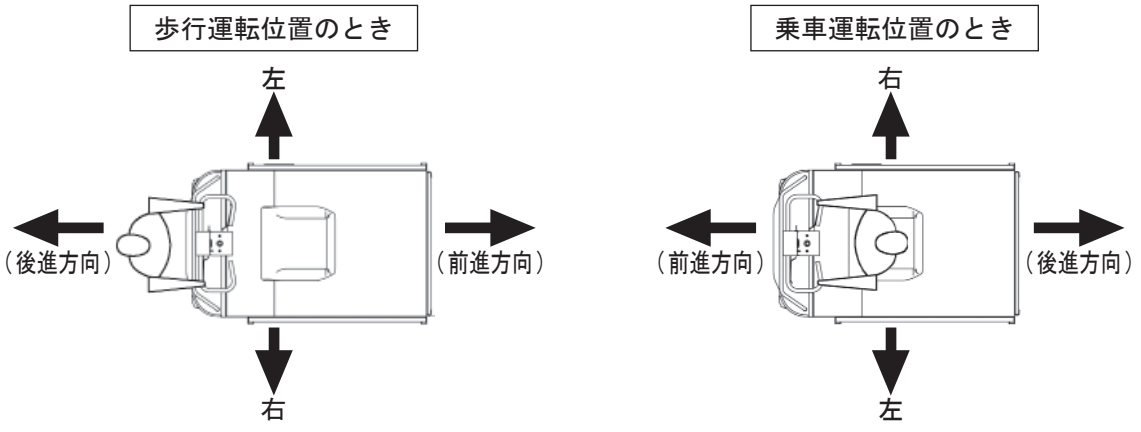
本製品は、経時的に材質が変化したり、繰返し使用されることにより、劣化、摩耗、疲労をおこします。これが原因で重大な人的および物的災害が発生するおそれがありますので、安全性をより高めるために、７０００時間または７年使用時のいずれか早く到来する方をオーバーホール期限とします。オーバーホール期限までに本製品のオーバーホールをし、安全な状態で作業をされることをお勧めします。オーバーホールはお買上げいただきました販売店・ＪＡを通じまして、株式会社やまびこにご相談ください。

本製品の使用目的について

本製品は、乗用の農用電動作業機ですので、農用の作業機としてご使用ください。
使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳細は、保証書をご覧ください。）

方向について

本製品の前後は、下図のように作業者から見た方向で表します。本文中の、前進・後進についても、作業者から見た方向で表します。



本文の概要

1章 安全に作業をするために必ずお守りください	●安全に関する重要な内容を、代表的な作業項目について説明しています。個別の作業については、各項目をみてください。また、各安全銘板の内容と貼付け位置を示しています。
2章 保証とサービスについて	●保証とアフターサービスについて説明しています。
3章 各部のなまえと各操作部のはたらき	●本文中、よく使う部品の名称の紹介と、よく使う操作レバー、および部品の位置とはたらきについて説明しています。
4章 運転と作業のしかた	●発進、走行のしかた、および作業台の使用のしかたを説明しています。
5章 作業後の手入れについて	●機械を最良の状態にしておくために、毎作業後および長期間使用しないときの、手入れのしかたを説明しています。
6章 手入れと点検・調整について	●長期間故障がなく、本製品を安全に使用するための点検・整備の　しかたを説明しています。
7章 不調診断	●正常に作動しないときの点検・処置のしかたを説明しています。修理に出す前に確認してください。
8章 その他	●仕様、および主要消耗部品について説明しています。
9章 電気回路図	●電気回路図を載せています。

目　次

はじめに　1

お願い……1
おことわり……1
説明記号の見方（危険・警告・注意・取扱いの注意）……2
本製品のオーバーホール期限について……2
本製品の使用目的について……2
方向につい……2

本文の概要　3

1章　安全に作業をするために必ずお守りください　6

1．作業者の体調・服装について……6
2．使用する機械について……7
3．運転前・作業前点検をするとき……8
4．作業をするとき……11
5．トラックへの積込み・積降しをするとき……18
6．格納をするとき……20
7．安全銘板の貼付け位置……21

2章　保証とサービスについて　22

保証書は大切に保管してください……22
アフターサービスをお受けになるときは……22
機械の廃棄について……22

3章　各部のなまえと各操作部のはたらき　23

4章　運転と作業のしかた　25

1．運転前の点検……25
2．バッテリの点検、充電のしかた……26
3．発進・旋回・停止のしかた……29
4．作業のしかた……34
5．坂道での運転のしかた……39
6．樹園への出入りのしかた……39
7．トラックへの積込み・積降しのしかた……40

5章 作業後の手入れについて 41

1．作業後の手入れ……41
2．長期間使用しない場合の手入れ……42

6章 手入れと点検・調整について 43

1．定期点検一覧表……44
2．定期交換部品……45
3．各部の注油のしかた……46
4．走行ミッションオイルの点検のしかた……47
5．電気配線の点検のしかた……47
6．ヒューズ点検・交換のしかた……48
7．バッテリの点検・整備、交換のしかた……48
8．タイヤ空気圧の調整のしかた……50
9．トーインの点検・調整のしかた……50
10．締付けするところ……51

7章 不調診断 52

1．電源が入らない……52
2．走行しない……52
3．まっすぐ走らない……53
4．停止距離が長くなった……53
5．サーキットブレーカが作動する……53
6．速度が遅くなった……53
7．荷台が上昇しない……54
8．稼動時間が短くなった……54
9．充電できない……54

8章 その他 55

1．主要諸元……55
2．主要消耗部品……56

9章 電気回路図 57

1章 安全に作業をするために必ずお守りください

●本製品は圃場内の作業を目的としており、小型特殊自動車の型式認定を受けていません。法令により公道走行は禁止されていますのでしないでください。
●ここに記載されている注意項目は、安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。
●ここに記載されている注意項目を守らないと死亡を含む傷害事故や機械の破損が生じるおそれがあります。
※ご購入された製品によっては該当しない内容も一部記載していますのでご了承ください。

1．作業者の体調・服装について

⚠警告

■こんなときは運転しない

●過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
●睡眠不足の人。
●視力不足のため表示内容が読めない人。
●取扱説明書の内容が理解できない人。
●酒を飲んだとき。
●妊娠しているとき。
●１８歳未満の人。
●運転が未熟な人。

【守らないと】
思わぬ事故の原因になります。



■作業に適した服装

はち巻き・首巻き・腰タオル・音楽用のイヤホンなどは禁止です。ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、作業に適した、防護具などを付け、だぶつきのない服装をしてください。

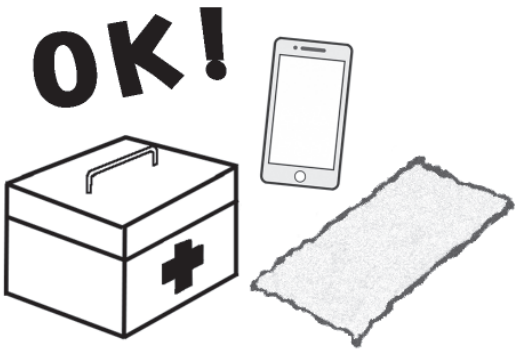
【守らないと】
機械に巻込まれたり、滑って転倒するおそれがあります。



■けがへの備え

万一の事故やけがへの準備をしてください。
●救急箱（応急手当用）
●タオルやてぬぐい（止血用）
●呼子や携帯電話（外部との連絡用）

【守らないと】
緊急の応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化するおそれがあります。



2．使用する機械について

⚠注意



■点検、整備をおこなう

使用前と使用後には必ず機械の点検、整備をしてください。特に、走行レバー・ハンドル・進行方向切換スイッチなどの操縦装置は、確実に作動するように点検、整備をしてください。

【守らないと】

整備不良による事故や機械の故障を生じるおそれがあります。



■機械を他人に貸すときは

取扱方法をよく説明し、使用前に**「取扱説明書」**を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

説明不足により、機械の故障、事故・けがをまねくおそれがあります。



■定期点検、整備を受ける

１年毎に定期点検、整備を受け、各部の保守をしてください。特に電気配線は毎年点検してください。

【守らないと】

整備不良による事故や機械の故障をまねくおそれがあります。



■安全銘板が破損しているときは、新しいものと交換する

本製品には、操作安全銘板が貼り付けてあります。内容を十分に理解して、その内容に従ってください。

操作銘板が汚れで読めなくなった場合は、きれいにふき取り、読めるようにしてください。またはがれて紛失した場合などは、販売店に注文し、新しい銘板を貼り付けてください。

【守らないと】

誤った操作により、事故をひきおこす原因になります。

3．運転前・作業前点検をするとき

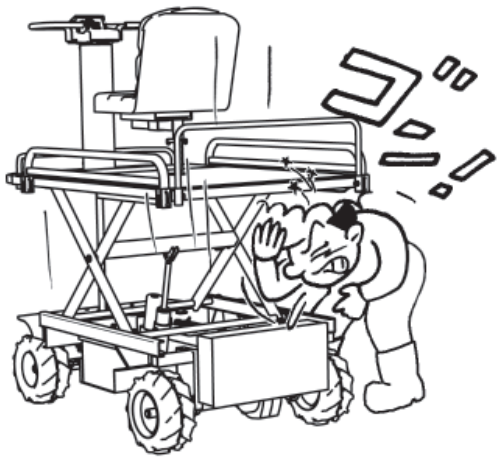
⚠危険

■点検、整備をするときは キースイッチを切る

点検、整備をするときや巻付いた草などを取除くときは、必ずキースイッチを「切」位置にしてから行ってください。

【守らないと】

何らかの原因で荷台が落下したり、本製品が動いて機械に巻込まれたりして傷害事故をおこすおそれがあります。



■機械から離れるときは、荷台を下げる

機械から離れるときは、荷台を一杯下げてから離れてください。

【守らないと】

何らかの原因で荷台が落下し、傷害事故をおこすおそれがあります。

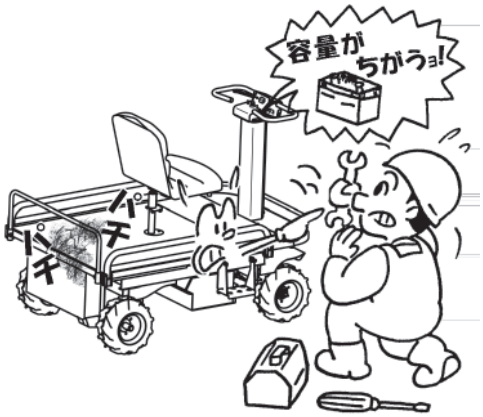


■必ず規定のバッテリを使用

バッテリを交換するときは、必ず規定のバッテリを使用してください。

【守らないと】

火災の原因となることがあります。

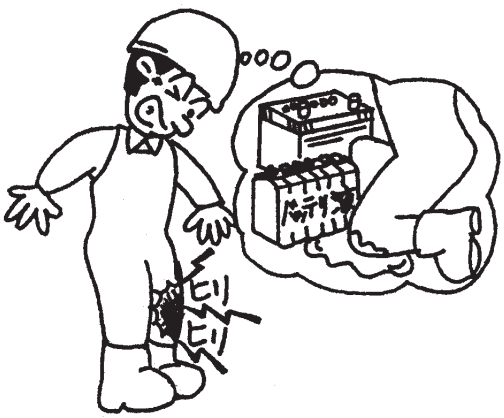


■電解液は体につけない

バッテリが破損して電解液が皮膚や衣類に付着した場合､すぐに水で洗い流してください｡目に入った場合は、大量の水で洗い流し、医師の診察を受けてください。

【守らないと】

火傷をしたり、服が破れるおそれがあります。



⚠危険

■バッテリ取付け、取外しは正しい手順で

バッテリを取付けるときは⊕側を先に取付け、取外すときは⊖側から外します。

【守らないと】

ショートして、火傷や火災事故を引きおこすおそれがあります。



⚠警告

■昇降部のボルトとナットの締付け確認

作業前には、必ず昇降部のボルトとナットの締付け、C型止め輪の脱落がないかを確認してください。（P 51「10. 締付けするところ」参照）

【守らないと】

C型止め輪・ナットの脱落、ボルトの折損などにより転落事故の原因となります。

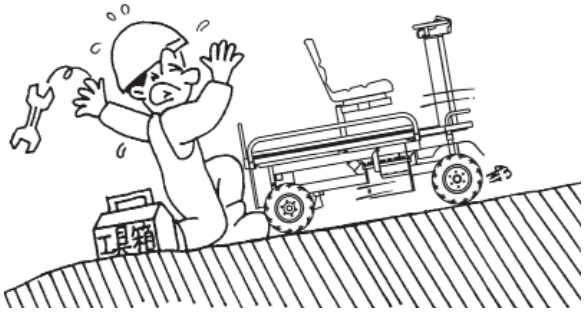


■点検、整備は平坦な安定した場所で

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦な安定した場所で、タイヤには車止めをして点検、整備をしてください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。

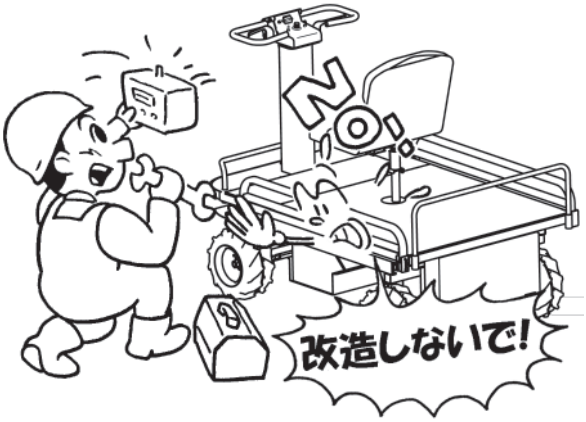


■機械の改造禁止

純正部品以外の部品を取付けないでください。改造をしないでください。

【守らないと】

機械の故障、事故・けがをまねくおそれがあります。



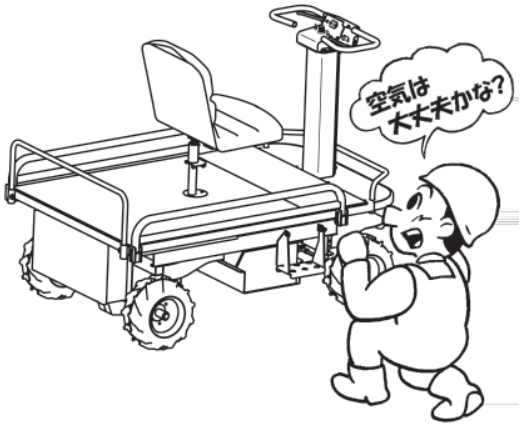
⚠警告

■タイヤは必ず点検

タイヤの空気圧を標準空気圧にしてください。タイヤに亀裂がないか確認してください。

【守らないと】

タイヤがパンクして思わぬ事故をまねくおそれがあります。



■タイヤホイル取付ボルトの締付け確認

タイヤホイルの取付けボルトは、確実に締付けてあるかを確認してください。

【守らないと】

タイヤが外れたりして思わぬ事故をまねくおそれがあります。

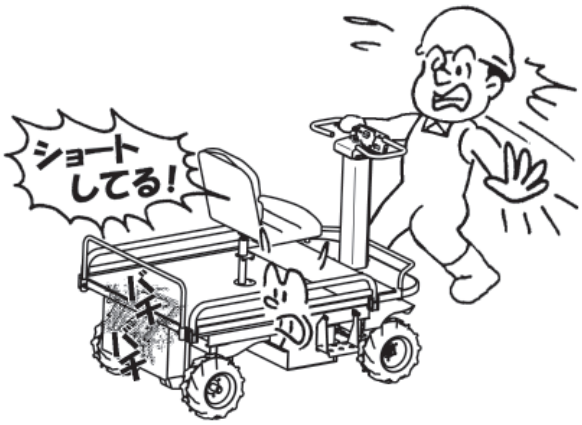


■電気部品・コードを必ず確認

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

【守らないと】

ショートして火災事故をおこすおそれがあります。



■足回りの草・泥などは取除く

足回りに草や泥が付着すると、タイヤが外れたり切断するおそれがあります。作業前後に取除いてください。

【守らないと】

転倒・転落のおそれがあります。



⚠注意



■ブレーキは必ず点検

ブレーキの効きが悪かったり、ガタや遊びがないか、点検してください。

【守らないと】

事故を引きおこすおそれがあります。

■カバー類は、必ず取付ける



点検、整備などで取外したカバー類は、必ず取付けてください。

【守らないと】

機械に巻込まれたりして、傷害事故を引きおこすおそれがあります。

4．作業をするとき

⚠危険



■後進するときは低速で

後進で移動するときは低速で行い、転倒しないように足元に十分注意し、後方に障害物がないか確認して障害物と機械との間にはさまれないようにしてください。

【守らないと】

思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。

■傾斜地１０度以上使用禁止



傾斜地での使用限度角度は１０度以内で使用し、乗車運転はしないでください。

【守らないと】

転倒し重大な傷害をまねくおそれがあります。

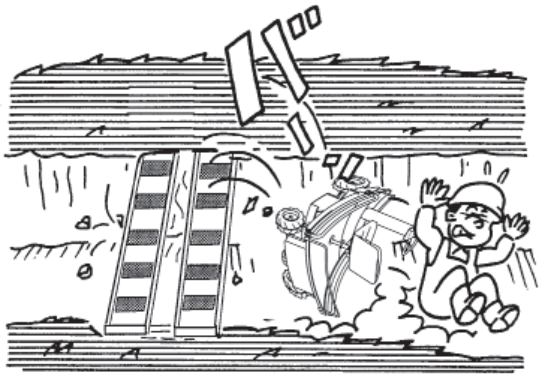
⚠危険

■移動時は路肩に注意

坂道・路肩・障害物乗越え・溝のある場所・軟弱地などでは、十分注意してスピードを落として走行してください。

【守らないと】

転倒・転落などの事故によりけがをするおそれがあります。

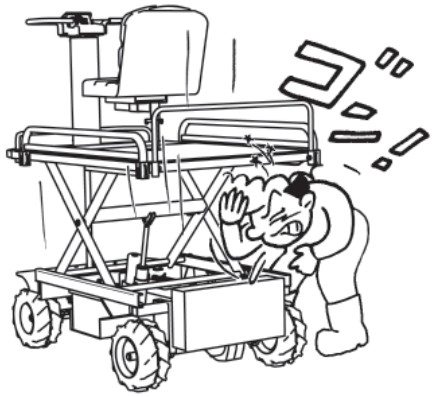


■農用リフト付電動作業機の荷台の下は立入厳禁

機械の下にもぐったり、足を踏み入れたりしないでください。

【守らないと】

何らかの原因で機械が動いたときに、傷害事故をおこすおそれがあります。

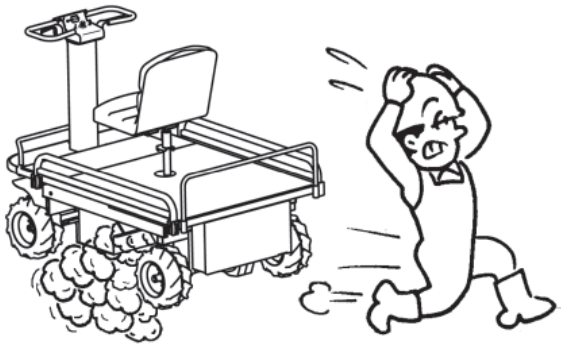


■発火時は、まず身体の安全を確保

バッテリ・電装関係から発火、または発煙したら、まず本製品から離れ、身体の安全を確保してください。周囲に類焼しないようにシャベルで砂をかけるか、または消火器で消化してください。

【守らないと】

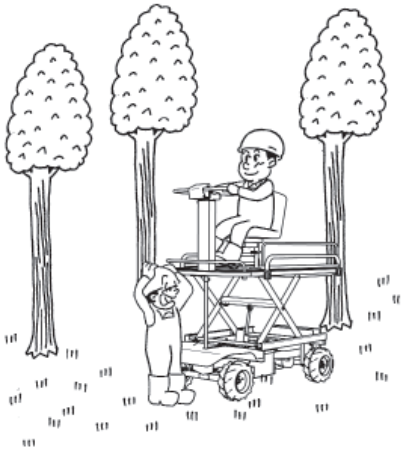
火傷や火災事故を引きおこすおそれがあります。



■リフト作業時は機体の周囲、頭上の安全を確認

【守らないと】

はさまれ事故のおそれがあります。



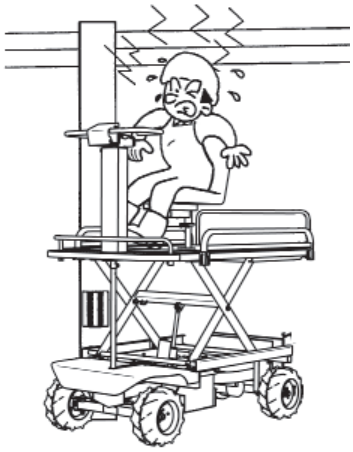
⚠危険

■電線近くの作業禁止

本製品は絶縁されていません。

【守らないと】

感電事故のおそれがあります。



⚠危険

■夜間作業禁止

本製品を使用しての夜間作業や、暗闇での点検はしないでください。

【守らないと】

本製品に巻込まれたり、視界がきかずバランスを崩し、転倒・転落などの事故によりけがをするおそれがあります。



■悪天候、悪路、軟弱地の使用禁止

強風のときや凸凹の多い場所、地面が軟らかい場所では使用しなしでください。

【守らないと】

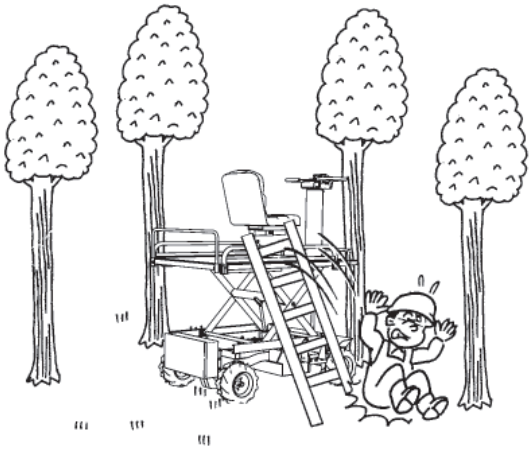
転倒・転落のおそれがあります。



■荷台上のハシゴ、補助台使用禁止

【守らないと】

転倒・転落のおそれがあります。



⚠危険

■過積載禁止

最大作業能力（作業台に乗る作業者の全体重を含む）以内で運転してください。また、積荷をした状態では、必ず荷台を完全に下げて走行してください。

【守らないと】

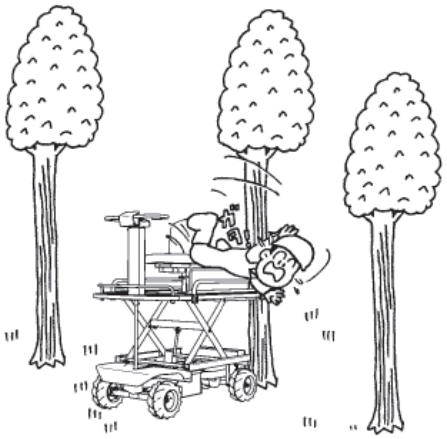
転倒や機械の破損をまねき、思わぬ傷害事故の原因となるおそれがあります。



■荷台からの乗り出しや、荷物のはみ出し禁止

【守らないと】

転倒・転落事故をおこすおそれがあります。

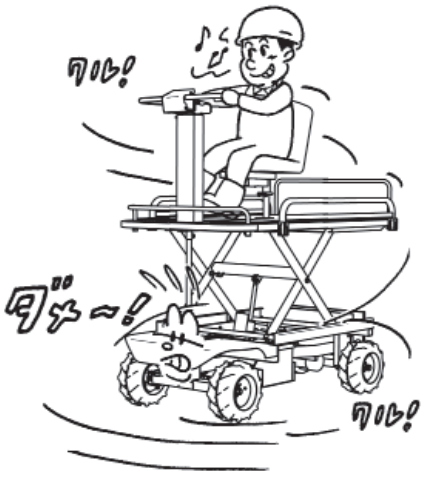


■荷台を上げた状態では走行禁止

移動時は荷台を下げて、歩行運転をしてください。

【守らないと】

バランスが崩れやすくなり、死亡事故や重大な傷害、物的損害をまねくおそれがあります。



■積載物を高く積まない

積荷が高くなると機械のバランスが崩れやすく、前方の障害物の確認ができません。積載物は高く積まないでください。コンテナで２段積み、その他は、腰の高さまでとしてください。また積荷はかたよった積み方をしないでください。バランスよく積んでください。

【守らないと】

荷崩れをおこし、転倒・転落事故、機械の破損をまねき、思わぬ傷害事故の原因となるおそれがあります。



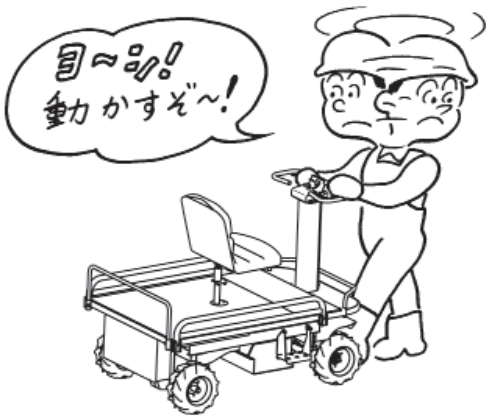
⚠警告

■スタート時（発進）は周囲確認

スタート時（発進）は、レバーの位置と周囲の安全を確認してください。

【守らないと】

思わぬ傷害事故の原因となるおそれがあります。



■人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

思わぬ傷害事故の原因となることがあります。



■周囲に合図してゆっくりと発進

発進時は、必ず周囲の人に合図をしてからキースイッチを「入」位置にして、急発進しないようにゆっくり発進してください。

【守らないと】

思わぬ傷害事故の原因となるおそれがあります。



■燃えているゴミの上やその近くは走行禁止

【守らないと】

火災になるおそれがあります。



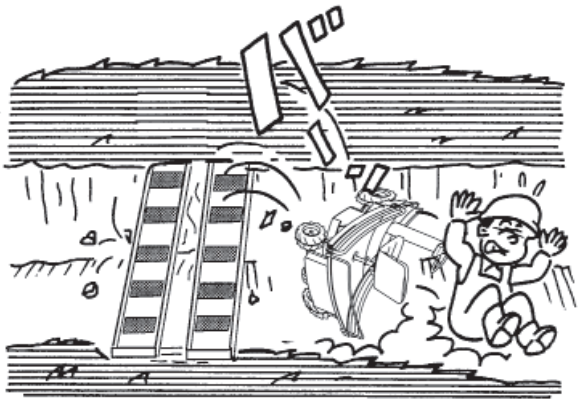
⚠警告

■急坂道・あゆみ板の上では変速禁止

急坂道やあゆみ板の上では、「前進」、「後進」の低い速度で走行してください。

【守らないと】

機械の重みで坂を下り、事故をおこすおそれがあります。

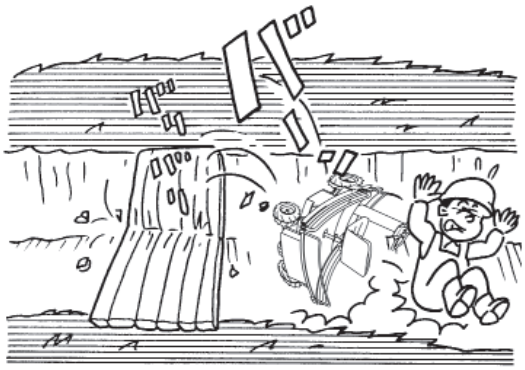


■溝・あぜを渡るときはあゆみ板を使用

樹園に入るとき、溝・あぜを渡るとき、軟弱な場所を通るときは、必ずあゆみ板を使用してください。あゆみ板は、幅・長さ・強度が機械に適したものを使用してください。

【守らないと】

スリップや転倒による事故をまねくおそれがあります。



■わき見運転禁止

【守らないと】

傷害事故の原因となります。

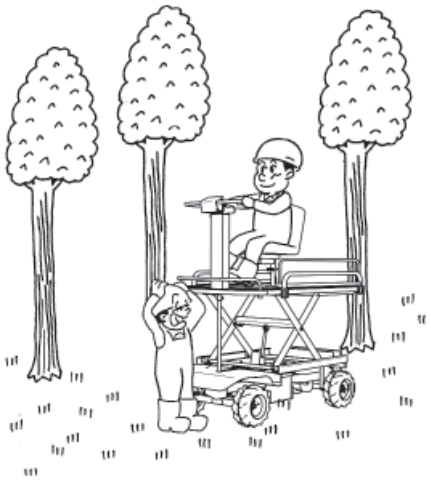


■作業中は近づかない

荷台は上下の動きをします。周囲に合図し、作業者以外の人を近づけないでください。

【守らないと】

はさまれたり障害物に接触して事故をまねくおそれがあります。



⚠注意

■農用のリフト作業以外は使用禁止

本製品は、個人向けの農用リフト付電動作業機です。高所作業車とは異なりますので高所における工事、点検、補修等の作業には使用しないでください。また公道での走行はしないでください。

【守らないと】

機械の破損をまねき、けがなどの思わぬ事故をまねくおそれがあります。



■くわえたばこでの作業厳禁

【守らないと】

火災など、思わぬ事故の原因となります。

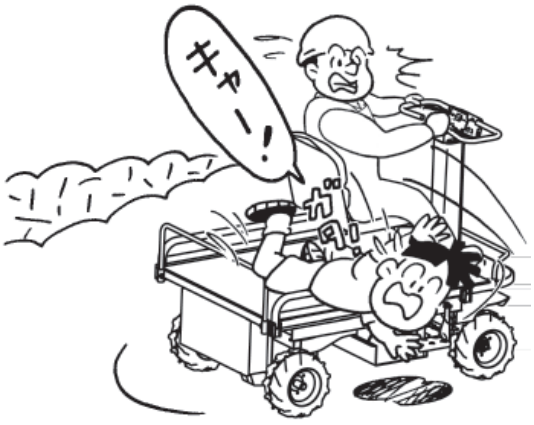


■荷台には乗らない

走行中は荷台に乗って運転したり、人を乗せないでください。

【守らないと】

転落などにより、思わぬ傷害事故の原因となるおそれがあります。



■急な発進・停止・旋回やスピードの出し過ぎ禁止

発進・停止はゆっくりと行ってください。旋回をするときは､十分スピードを落としてください。また、坂道や凸凹道、カーブの多い場所では、十分速度を落としてください。また傾斜地における乗車での移動は絶対にしないでください。

【守らないと】

転倒・転落事故や、機械の破損をおこすおそれがあります。



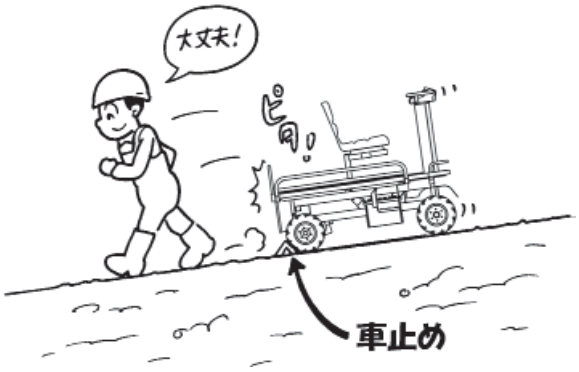
⚠注意

■機械から離れるときは平坦地に置きキースイッチを切る

機械から離れるときは、平坦で安定した場所に置き、キースイッチを「切」位置にしてください。やむを得ず傾斜地に置く場合は、必ず車止めをしてください。

【守らないと】

機械が動きだし、事故の原因となります。



5．トラックへの積込み・積降しをするとき

⚠警告

■強度・長さ・幅の十分あるあゆみ板を使用

積込み・積降しをするときは、平坦で交通の安全な場所に、トラックのエンジンを止め、動かないようにサイドブレーキを掛けて車止めをしてください。使用するあゆみ板は、強度・長さ・幅が十分あり、スリップしないものを選んでください。

【守らないと】

転落などの事故をまねくおそれがあります。

《あゆみ板の基準》

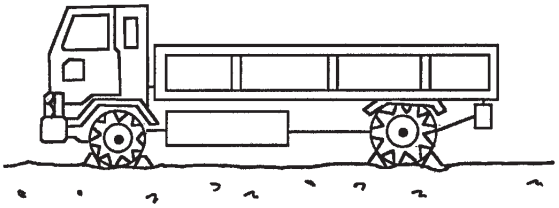
- **長さ**…トラックの荷台高さの４倍以上
- **幅**……タイヤ幅の 1.5 倍以上
- **強度**…本製品の総重量に十分耐えるもの（１本当たり）
- **表面**…スベリ止めのあるもの
- **形状**…固定フックのあるもの

■トラックには必ず車止めを

積込むトラックの変速は「P」または「1速」・「R」位置に入れ、サイドブレーキを掛けて車止めをしておいてください。

【守らないと】

トラックが動いて転落事故などをまねくおそれがあります。

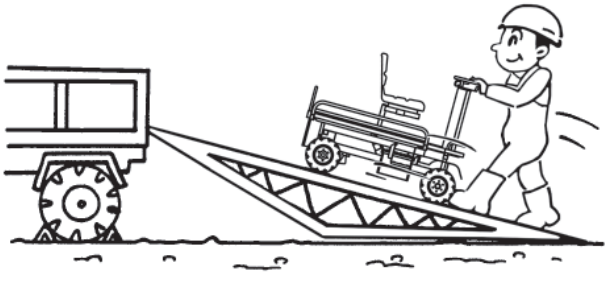


■あゆみ板は確実に掛ける

あゆみ板をそれぞれのタイヤに合わせ、フックをトラックの荷台へ確実に掛けてください。

【守らないと】

あゆみ板が外れて本製品が転落・転倒し、死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。



⚠警告

■積込み・積降し作業中、機械の前には絶対立たない

トラックなどからの積込み・積降し作業中は、機械の直前には絶対に立たないでください。

【守らないと】

傷害事故をまねくおそれがあります。

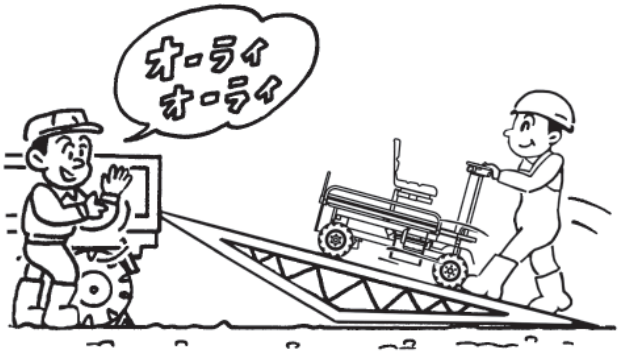


■積込み・積降し作業は誘導者をつけて

トラックなどからの積込み・積降し作業は、誘導者を付けて、周囲の安全を十分確認してください。

【守らないと】

転落などの事故をまねくおそれがあります。

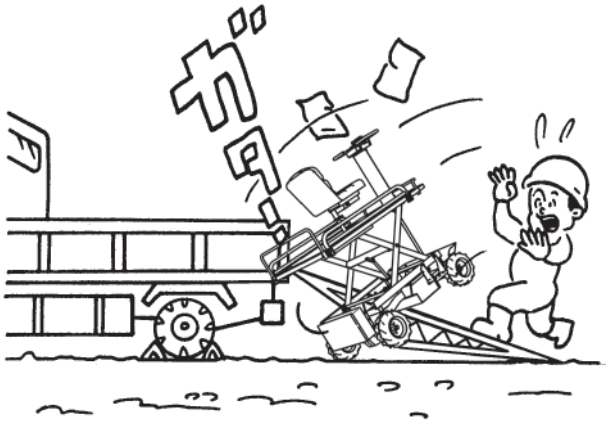


■荷台を下げてあゆみ板を使用

あゆみ板を使用して積込み、積降しをするときは、本製品の荷台を下げ、荷物を載せないで使用してください。

【守らないと】

バランスが崩れ、転落などの事故の原因になります。

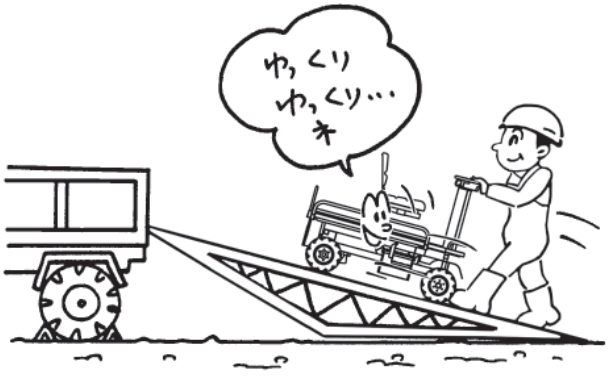


■登るときは前進、降りるときは後進でおこなう

積込みの場合「**前進**」、積降しの場合は「**後進**」の低速で行ってください。あゆみ板とトラックの荷台の継目を越えるときは、急に重心が変わりますので注意して走行してください。乗車運転はしないでください。

【守らないと】

バランスを崩し転落などの事故を引きおこすおそれがあります。



⚠警告

■あゆみ板の上ではハンドル操作厳禁

あゆみ板の上で進路変更をすることがないように前もって進路を定めて最低速度で行ってください。進路を変えるための、ハンドル操作は絶対にしないでください。方向を直す場合は、平坦な場所に戻ってから行ってください。

【守らないと】

転落などの事故の原因となります。



■ロープでトラックに確実に固定

トラックに載せて移動するときは、本製品のキースイッチを「切」位置にしてから動かないように車止めをしてください。荷台は､最下位置にし､荷物は積まない状態で、強度の十分あるロープでトラックに本製品を確実に固定してください。

【守らないと】

トラックから本製品が転落したりして、事故をまねくおそれがあります。



6．格納をするとき

⚠警告

■長期格納時はキーを外す

長期間使用しないで格納する場合は、キーを抜取り保管してください。

【守らないと】

事故を引きおこすおそれがあります。



⚠注意

■機械の近くに可燃物を置かない

機械を格納するときは、乾燥した屋内に置き、必ず車止めをしてシートなどを本製品全体に掛けてください。近くに燃えやすい物がないか、また、燃えやすい物があれば取除いてください。

【守らないと】

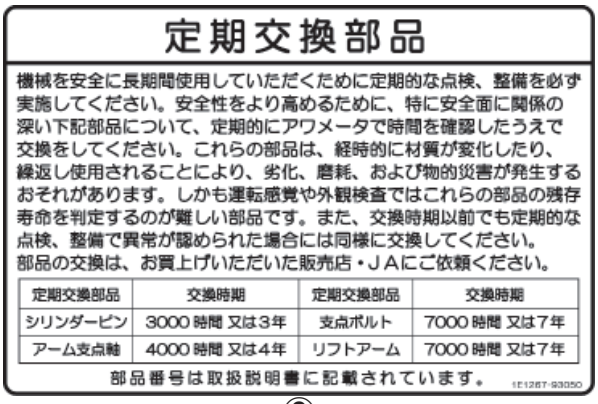
機械が動きだしたり、火災事故を引きおこすことがあります。

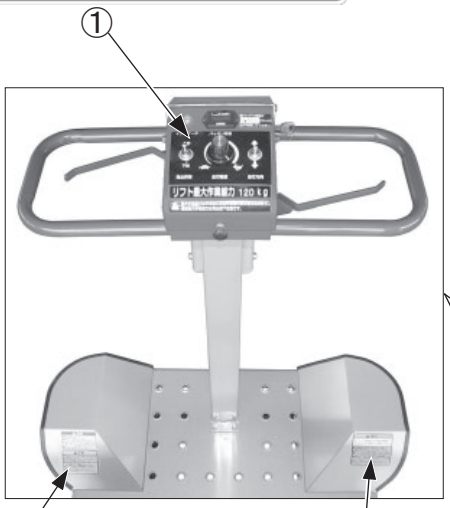


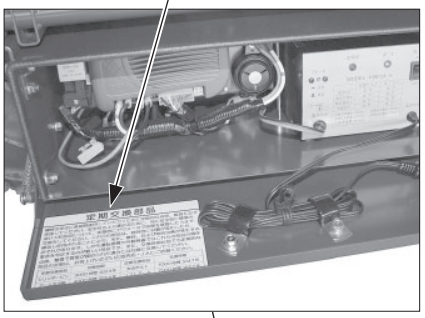
7．安全銘板の貼付け位置

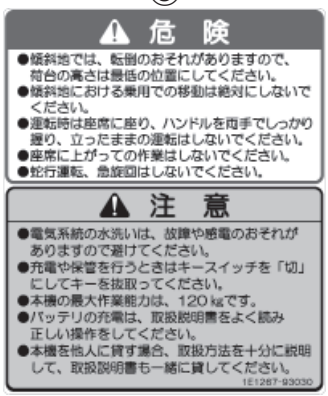
安全に作業していただくために安全銘板の貼付け位置を示したものです。
安全銘板は常に汚れや破損がないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。

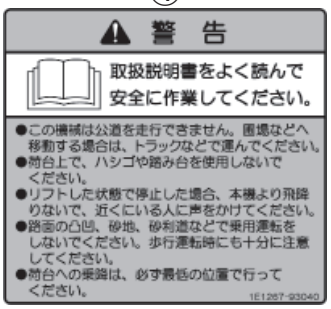


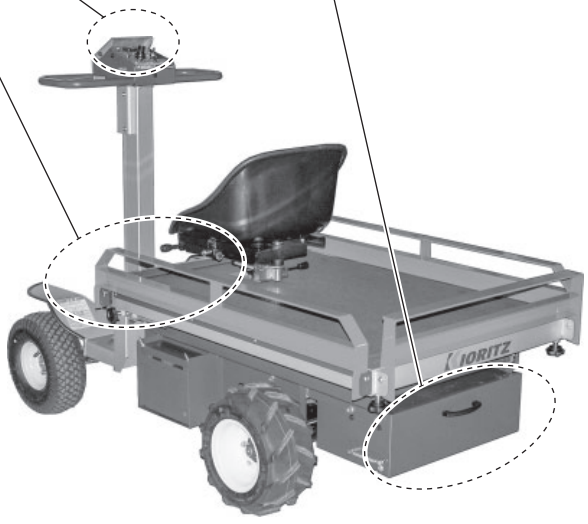












No.	部品番号	品名	No.	部品番号	品名
1	1E1185-93020	操作銘板	3	1E1185-93060	危険・注意（傾斜地・バッテリ）
2	1E1185-93060	定期交換部品	4	1E1185-93070	警告（取説）

2章 保証とサービスについて

保証書は大切に保管してください

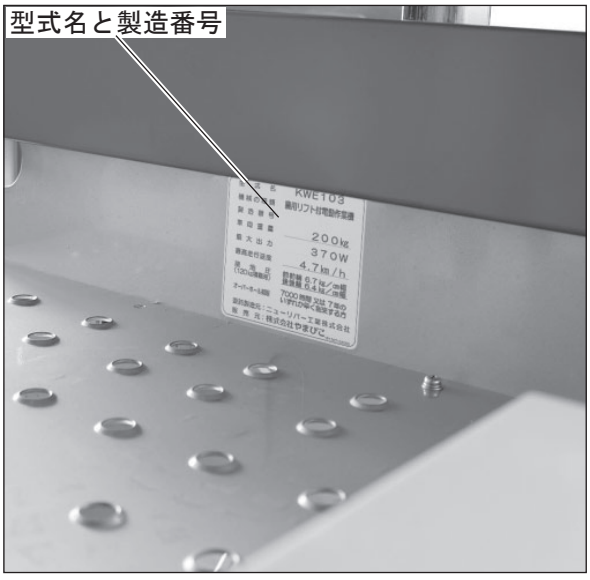
「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービスをお受けになるときは

機械の調子が悪いときに点検・処置をしても、なお不具合があるときは、下記の点を明確にして、お買上げいただいた販売店・ＪＡまでご連絡ください。

〈連絡していただきたい内容〉

- ●型式名と製造番号
- ●ご使用状況は？
  （何速で、どんな作業をしていたときに）
- ●どのくらい使用されましたか？
  （約□□□時間使用後）
- ●不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。



〈補修部品の供給年限について〉
この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後９年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

機械の廃棄について

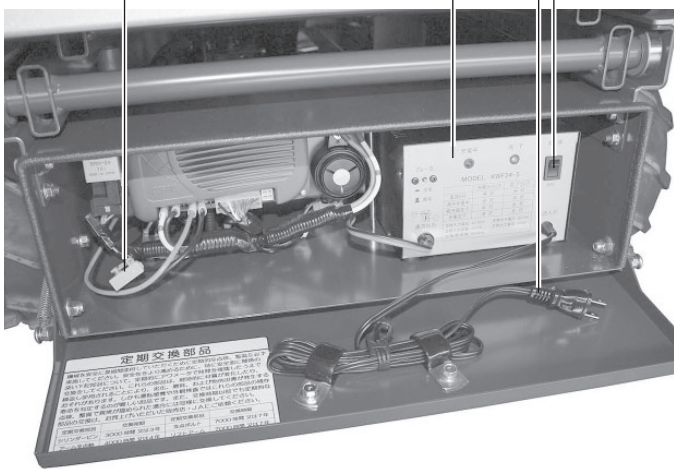
機械を廃棄する場合、購入された販売店・ＪＡもしくは廃棄物処理業者に依頼してください。
法律に違反する行為は絶対にしないでください。
詳しくは、お住まいの自治体の指導に従ってください。

●充電器スイッチ

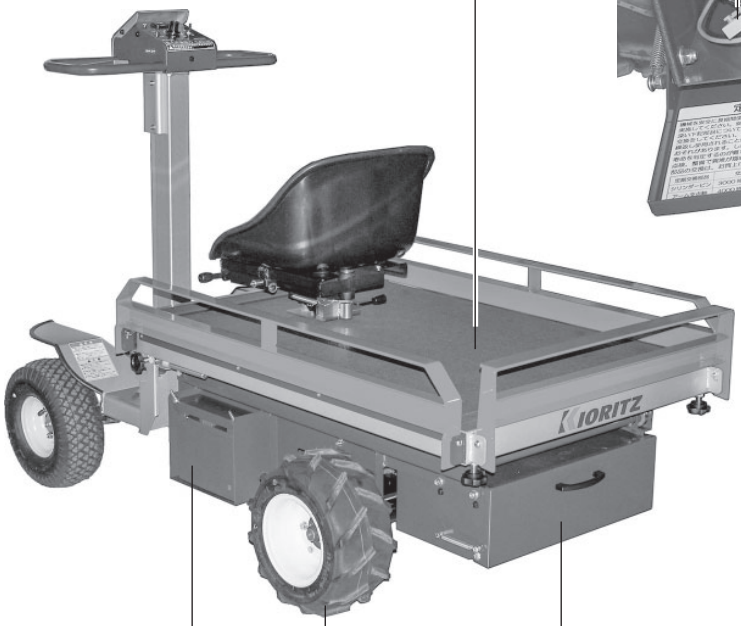
●電源プラグ
充電するときに使います。（100 Ｖ電源 ）

●充電器

●ヒューズボックス



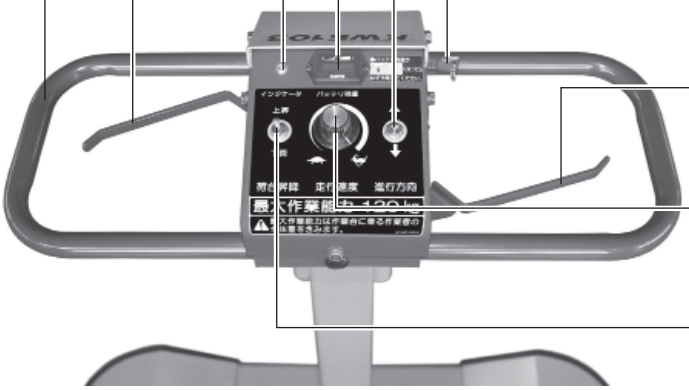
●荷台



●電源ボックス

●タイヤ

●バッテリ
左右に２つあります。



●ハンドル

●歩行用走行レバー
歩行運転のときに使用します。

●インジケータ
キースイッチが**「入」**位置で点灯します。

●バッテリゲージ
バッテリの充電残量を表示しています。

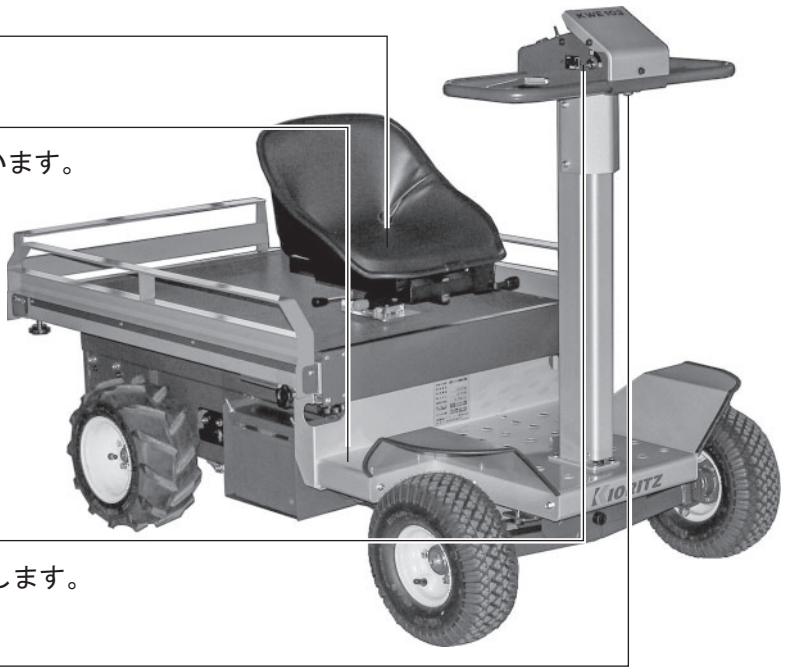
●進行方向切換スイッチ
前進・後進の切換えに使用します。

●キースイッチ
走行・荷台昇降用の電源を**「入」**・**「切」**するために使用します。

●乗用走行レバー
乗用運転のときに使用します。

●走行速度調整ダイヤル
速度の調整をするときに使用します。

●荷台上昇・下降スイッチ
荷台を上げたり、下げたりするときに使用します。



●座席

●ステップ
荷台に乗ったり降りたりするときに使います。

●アワメータ
点検、部品交換時に、この時間を目安にします。

●ブレーキ解除スイッチ
手押し移動のときに使用します。

1．運転前の点検

⚠危険

●点検、整備を行うときは、キースイッチを「切」位置にしてください。守らないと、思わぬけがをするおそれがあります。

⚠警告

●点検、整備は、交通の危険がなく機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所に車止めをした上で行ってください。守らないと、思わぬけがをするおそれがあります。

⚠注意

●点検、整備などで取外したカバー類は、必ず取付けてください。守らないと機械に巻込まれて、傷害事故をおこすおそれがあります。

安全で快適な作業を行うには、本製品を使用する前に必ず始業点検を行い、異常箇所は直ちに整備してから作業を始めてください。また、作業終了時も点検を行って異常がないかチェックしてください。

点検は次の順序で行ってください。

①前日の異常箇所

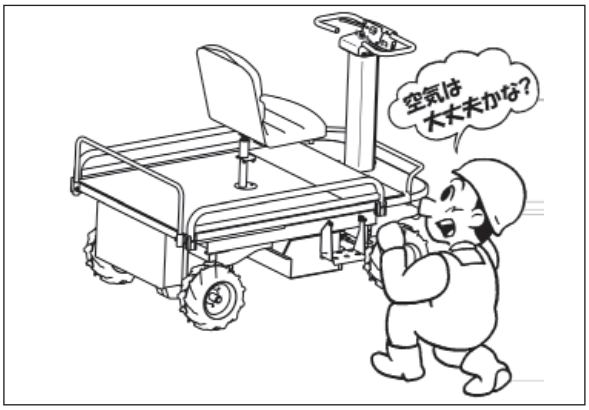
●前日の作業中に異常を感じたところがあれば作業に支障がないか点検します。

②本製品のまわりを回ってみて

●各部の変形・損傷・汚れ

●走行ミッションオイルの油もれ ……47

●タイヤの空気圧・損傷・亀裂 ……50

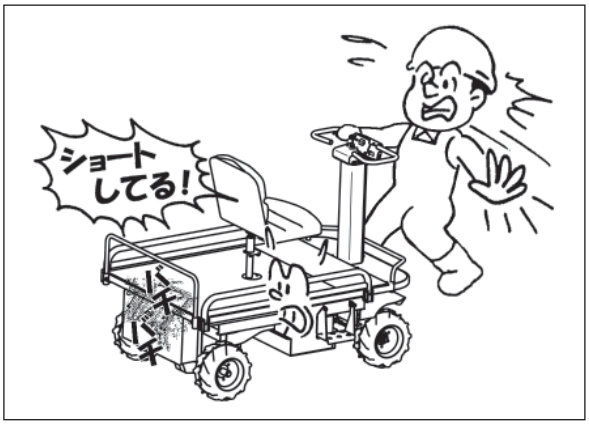


●昇降部のボルト・ナットのゆるみ ……51

●タイヤホイル取付けボルト・ナットのゆるみ ……51

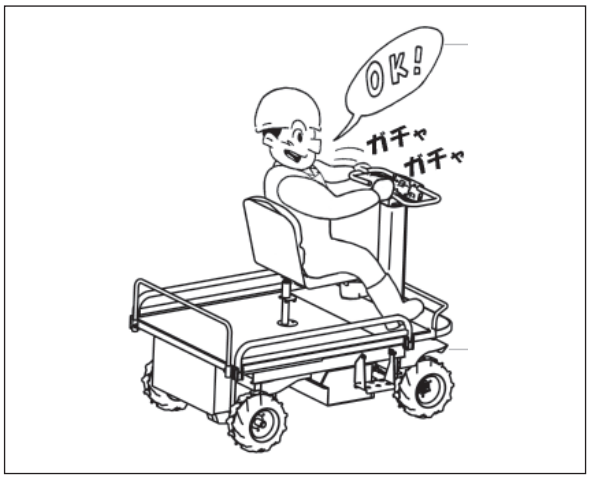
●機体各部の損傷、ボルトのゆるみ ……51

●配線コードの被覆のはがれや接続部のゆるみ ……47



③レバーを操作してみて

●各レバー・スイッチの作動状態



④走行してみて

●走行中の異音

２．バッテリの点検、充電のしかた

⚠警告

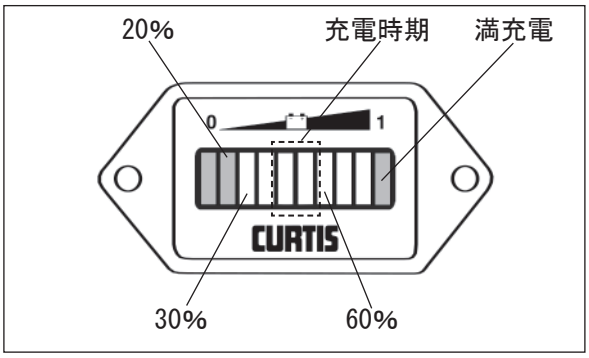
●濡れたプラグや濡れた手で充電しないでください。必ず手の水分を良く拭取り、濡れたプラグはよく乾燥させてください。感電するおそれがあります。

⚠注意

●バッテリの充電中は、バッテリと充電器が発熱しますので、換気を行ってください。守らないと火傷を負うおそれがあります。

充電はバッテリ残量の約５０％で充電するのが理想的です。最低でも左から３番目が点灯した時点で作業を中止して必ず充電してください。さらにバッテリ残量が減ると左端と２番目のランプが交互に点滅します。この状態が続くとバッテリの状態が著しく低下し、走行できなくなります。

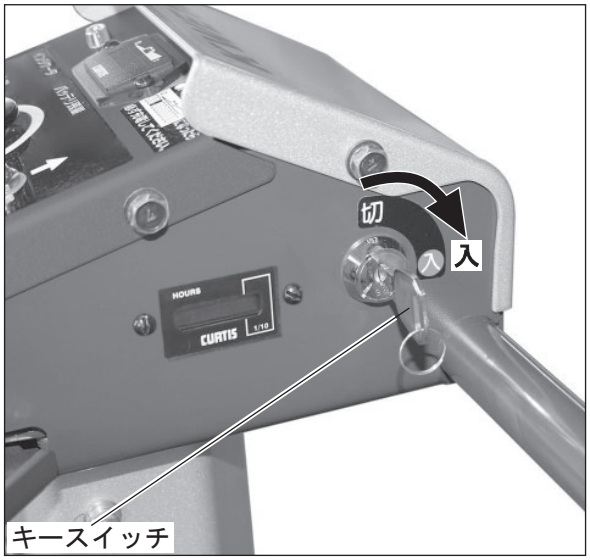
バッテリゲージの見方



※バッテリ残量が 10%で左端と２番目が交互に点滅し、バッテリの状態が著しく低下します。

点検のしかた

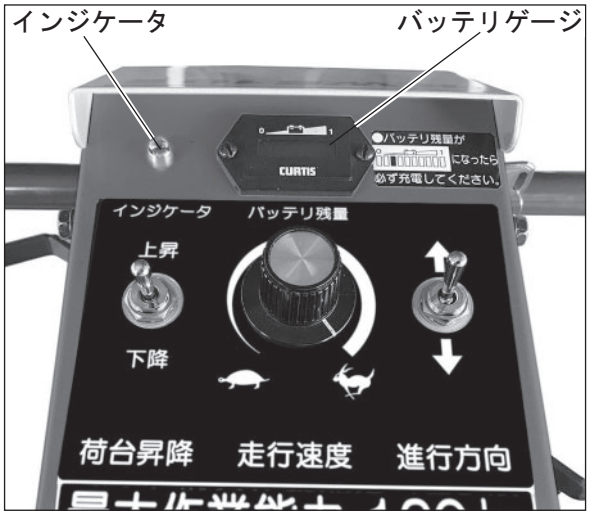
①キースイッチを「入」位置にします。インジケータとバッテリゲージが点灯します。



※キースイッチが「入」位置で「ピー、ピー」と音が鳴りはじめ、「切」位置で音が止まります。

※電気系統の故障の場合、インジケータが点滅します。販売店・ＪＡにご相談ください。

②バッテリゲージで充電残量を調べ、不足している場合は、充電してください。



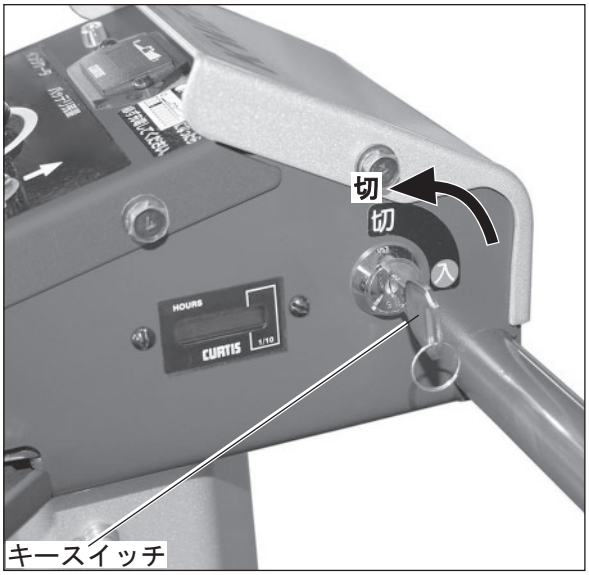
取扱いの注意

●バッテリを長持ちさせるために、こまめにバッテリを充電してください。

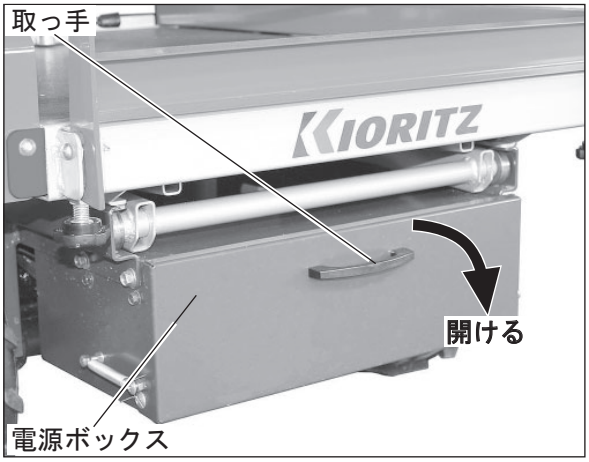
●過放電しすぎるとバッテリの寿命が短くなります。

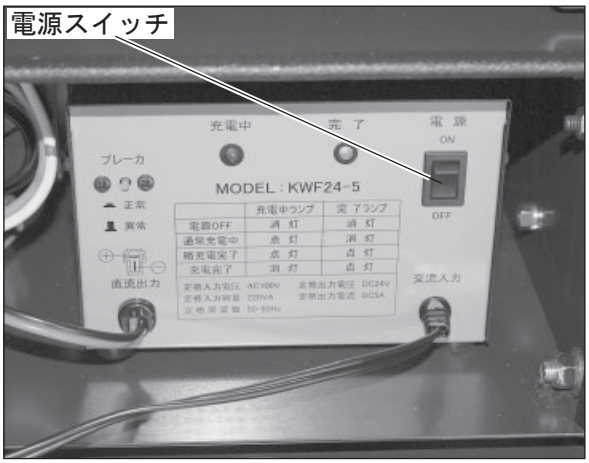
充電のしかた

①キースイッチを「切」位置にします。

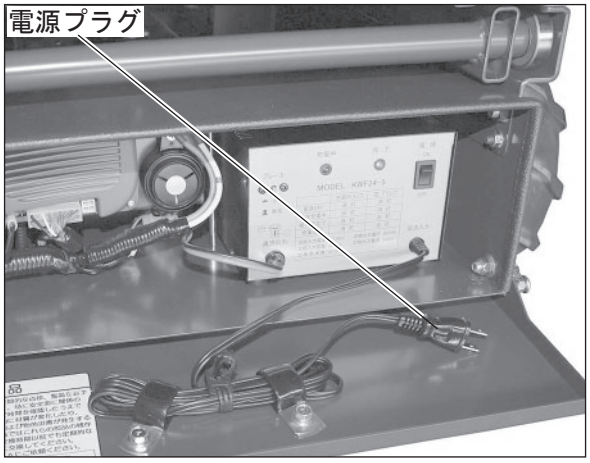


②電源ボックスの取っ手を引いて電源ボックスを開け、充電器の電源スイッチが「ＯＦＦ」になっている事を確認してください。

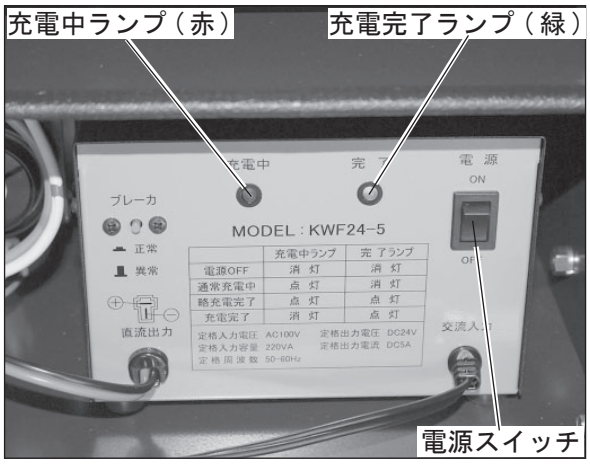




④電源プラグを引出し、家庭用ＡＣ１００Ｖコンセントに差込みます。



⑤充電器の電源スイッチを「ＯＮ」にします。このとき充電中ランプ（赤）が点灯することを確認してください。



※充電器の電源を「ＯＮ」にしても、充電器が作動しない場合、故障が考えられますので、右記（充電器の復帰のしかた）を参照してください。

⑥満充電が近づくと充電完了ランプ（緑）が点灯します。充電が完了すると充電中ランプ（赤）が消灯し、充電を停止します。

《充電中の表示状態》

① 充電中　　赤●（点灯）　緑○（消灯）
（充電を開始します。）
↓
② 略充電中　　赤●（点灯）　緑●（点灯）
（80%の充電状態です。）
↓
③ 満充電完了　赤○（消灯）　緑●（点灯）
（充電を停止します。）

※バッテリの放電量が多いと、充電器が発熱して充電が停止する場合があります。充電器の温度が下がると充電を再開します。

⑦電源スイッチを「ＯＦＦ」にし、充電器の電源プラグをコンセントから抜き、電源ボックスに納め、電源ボックスのふたを閉めてください。

取扱いの注意

●バッテリは自然放電をします。長期間使用しない場合でも、１ヶ月に一度は充電してください。

●充電が完了するまで電源プラグを抜かないでください。充電中に緊急で使用する場合は、使用後に必ず満充電にしてください。

●他の充電器を使用しないでください。

●１００Ｖ以外の電源を接続すると充電器が破損することがあります。

●充電は、気温が５℃～４０℃の場所で行ってください。気温が５℃以下では満充電にならないことがあります。

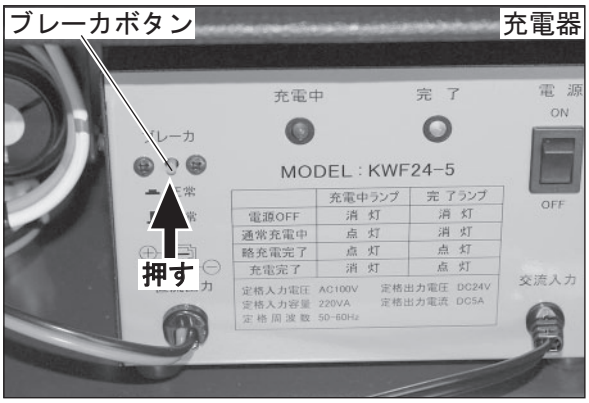
●直射日光や雨・露の影響を受けない、風通しの良い湿気の少ない場所で充電してください。

●電源プラグは、充電以外は必ず収納し、電源ボックスのふたを閉めてください。充電コードの断線の原因になります。

充電器の復帰のしかた

※充電器の電源を「ＯＮ」にしても、充電器が作動しない場合、次の要領で復帰させてください。

充電器のブレーカボタンがパネルの絵の異常のように飛び出していますので、ボタンを押して正常にし、充電をしてください。



※ブレーカボタンを押しても充電器が復帰しない場合、修理が必要になります。お買上げいただいた販売店・ＪＡへご相談ください。

３．発進・旋回・停止のしかた

⚠危険

●発進・停止はゆっくりと行ってください。旋回するときは、十分にスピードを落としてください。また坂道・路肩・凸凹道やカーブの多い場所では、十分に速度を落としてください。思わぬ事故の原因となります。

●急傾斜地での斜め走行はしないでください。横転して事故をまねくおそれがあります。

●後進時は、後方に十分注意してください。転倒などにより、けがをするおそれがあります。

●本製品を利用して夜間作業は、しないでください。視界がきかず、バランスを崩し転落、転倒などの事故により、けがをするおそれがあります。

●本製品から離れるときには、荷台を一番下まで下げてから離れてください。何らかの原因で荷台が落下し、傷害事故をおこすおそれがあります。

●乗車運転をするときは、必ず座席に座り、ハンドルをしっかり握って運転してください。立ったまま運転をしないでください。転落、転倒などの事故により、けがをするおそれがあります。

⚠警告

●発進するときは、各スイッチの位置と人や動物を近づけないよう必ず周囲の安全を確認して発進してください。守らないと思わぬ事故、けがをまねくおそれがあります。

●本製品を使用しないときは、必ずキーを抜いて安全な場所にキーを保管してください。守らないと児童などが操作し事故をおこすおそれがあります。

●急な下り坂では、ハンドルの操作をしないでください。思わぬ方向に機械が旋回して転落などの事故をまねくおそれがあります。

⚠警告

●路面の凸凹、砂地、砂利道などで乗車運転をしないでください。歩行運転の低速で十分注意をして走行してください。転倒・転落などの事故をまねくおそれがあります。

●乗車運転をするときは、必ず荷台を一番下に下げてから乗降してください。転倒・転落により思わぬ傷害事故の原因となります。

⚠注意

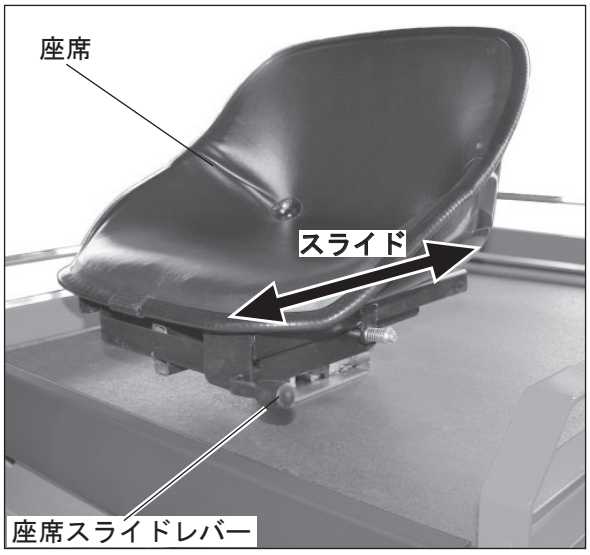
●機械を使う前と後には、必ず点検、整備をしてください。特に走行レバー・進行方向切換スイッチなどの操縦装置は、確実に作動するように点検､整備をしてください。守らないと、傷害事故をおこすおそれがあります。

●本製品は、小型特殊自動車の型式認定を受けていません。法令により公道走行は禁止されていますのでしないでください。

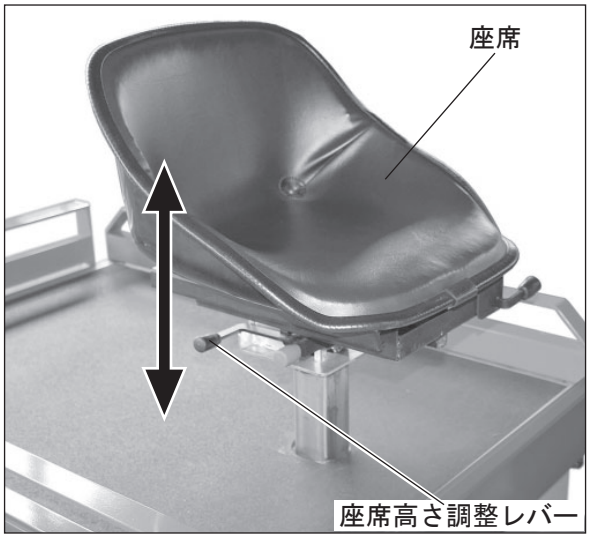
●本製品から離れるときは、平坦で堅固な安定した場所に置き、必ずキースイッチを「切」位置にし、車止めをしてください。守らないと本製品が動きだし、事故をおこすおそれがあります。

座席の合わせかた

乗車運転をするときは、身体に合せて座席の高さと前後の位置を調整をしてください。座席左下のレバーで、座席を希望の位置にスライドさせて位置を決め、座席右下のレバーで高さを調整してください。



※スライド部は定期的に注油をしてください。
　錆付きを防止します。



※摺動部には、定期的に注油をしてください。
　錆付きを防止します。

発進のしかた

⚠危険

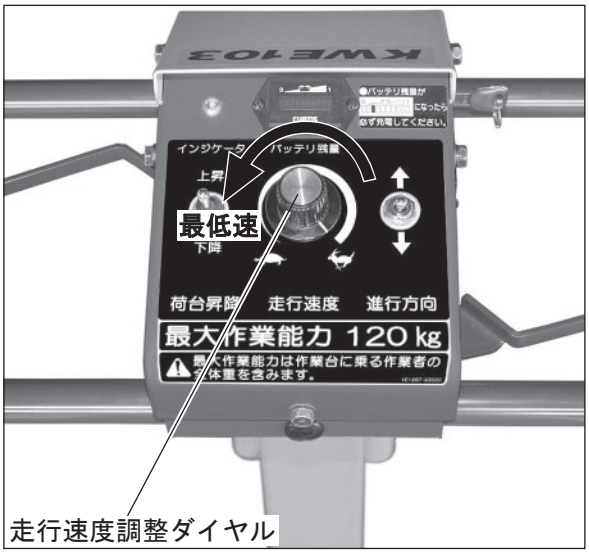
●歩行運転で後進する場合、転倒しないように足元に十分注意し、後方に障害物がないか確認してください。障害物と本製品との間にはさまれてけがをするおそれがあります。

⚠警告

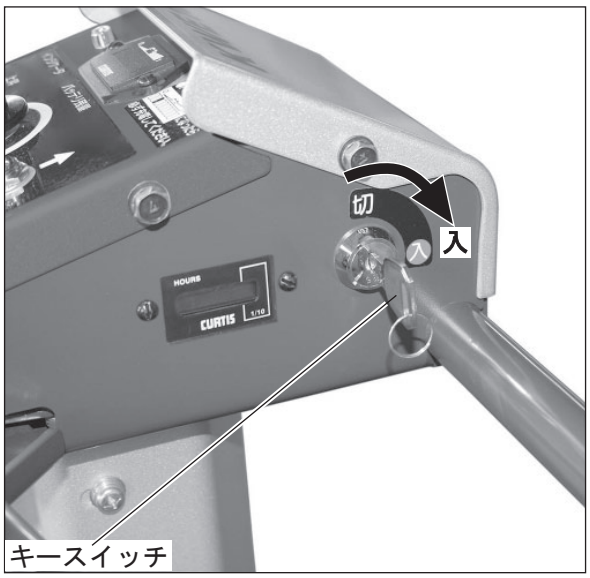
●急坂道やあゆみ板の上では、低い速度で走行し、途中での変速はしないでください。暴走して事故をおこすおそれがあります。

●後進する場合、走行速度調整ダイヤルを低速側にし、十分注意し、ゆっくり走行してください。

①走行速度調整ダイヤルを一番左（最低速）まで回します。

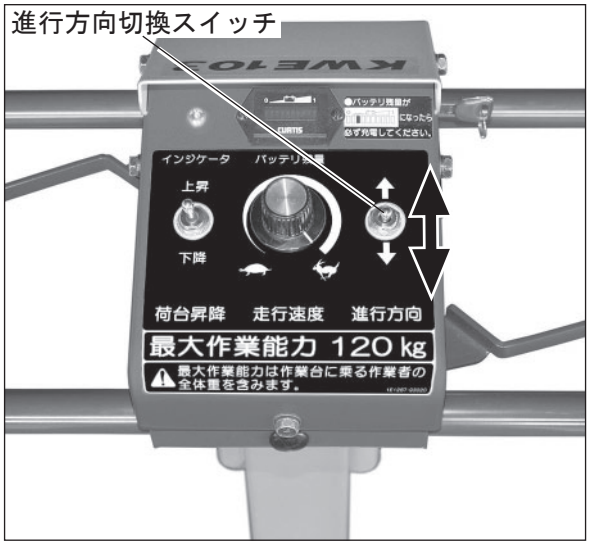


②キースイッチを「入」位置にします。



※キースイッチが「入」位置で「ピー、ピー」と音が鳴りはじめ、「切」位置で音が止まります。

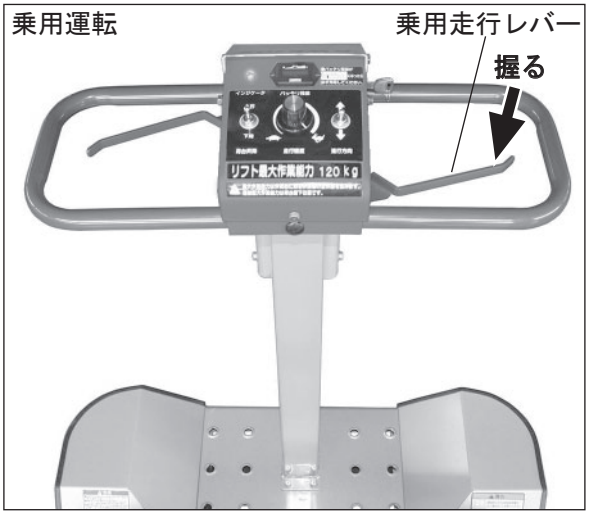
③進行方向切換スイッチを希望の方向にします。

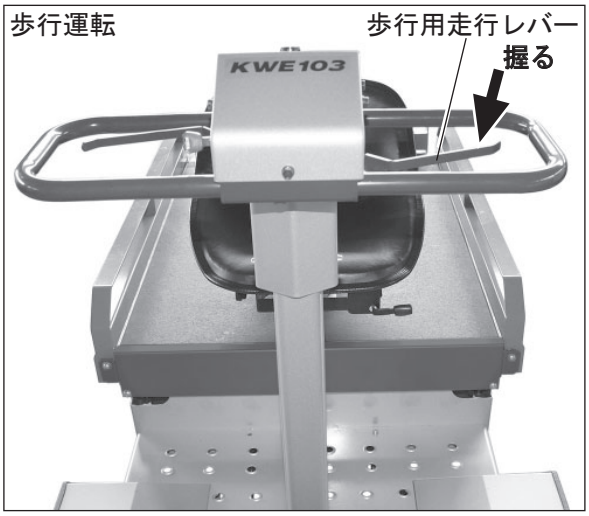


取扱いの注意

●走行中に進行方向切換スイッチを操作しないでください。必ず停止してから操作してください。故障の原因になります。

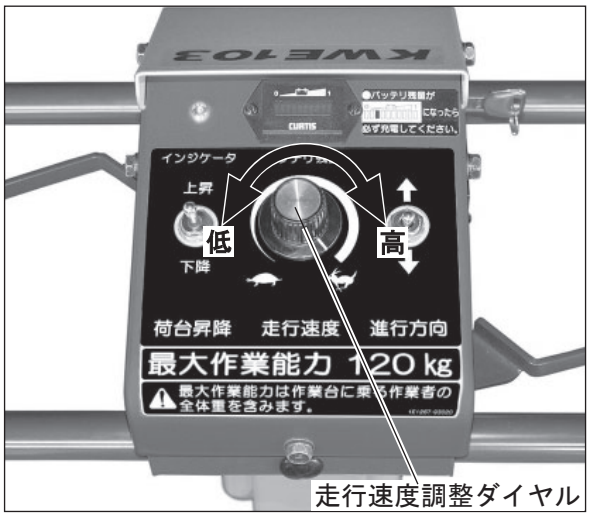
④歩行運転は歩行用走行レバーを、乗車運転は乗用走行レバーをゆっくり握ります。





※走行レバーの握り具合で、速度調整ができます。

⑤走行速度調整ダイヤルを徐々に回してゆっくり発進してから、希望の速度に調整してください。



※走行中にミッション・モータから異音がする場合は直ちに運転を中止し、販売店・ＪＡに相談してください。

取扱いの注意

●走行速度調整ダイヤルは低速側から徐々に回してゆっくり発進してください。高速側からの発進は急発進をして大変危険です。必ず、走行レバーを握ってから希望の速度にゆっくり回してください。

●希望の速度が決まれば、走行レバーの握り具合で、速度調整ができます。

●走行レバーを握っても機体はすぐには発進しませんが故障ではありません。

※坂道やぬかるみなどを走行中、回路内に大きな電流が流れた場合、サーキットブレーカが作動して走行を停止することがあります。その場合、しばらくすると（約１０分程度）自動的に復帰します。

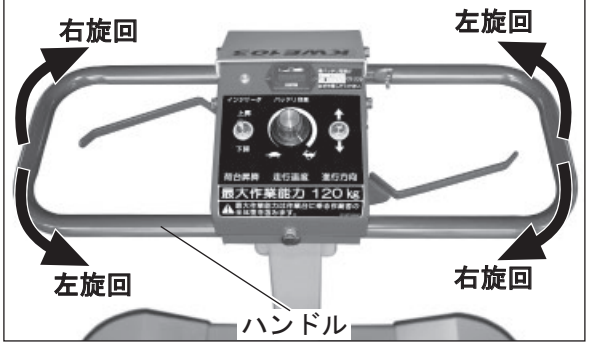
旋回のしかた

⚠注意

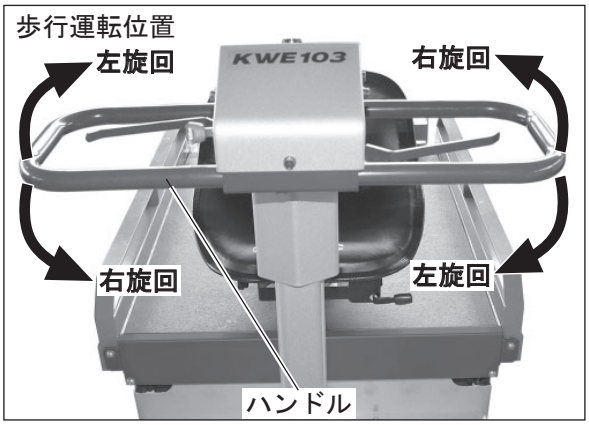
●歩行運転と乗車運転では、ハンドルの切れる方向が逆になります。十分注意して、低速で行ってください。逆方向に曲がり、事故やけがのおそれがあります。

ハンドルを回すと旋回します。

乗用運転位置

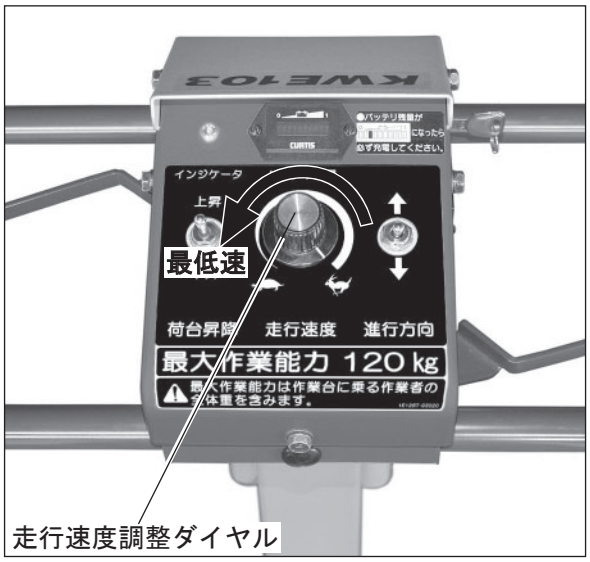


歩行運転位置



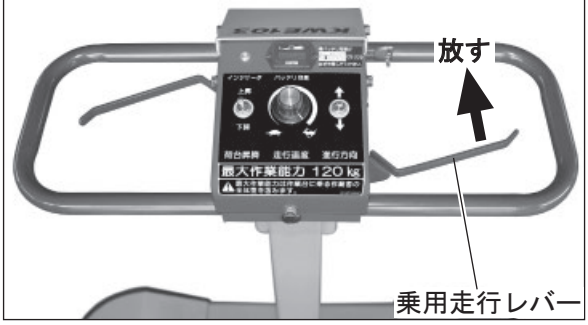
停止のしかた

①走行速度調整ダイヤルを「**最低速**」にします。

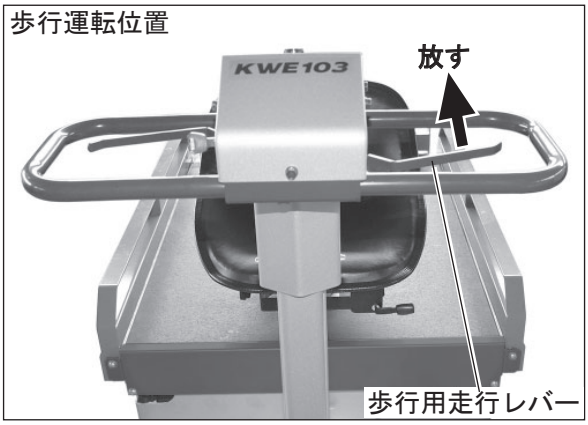


②走行レバーを放します。

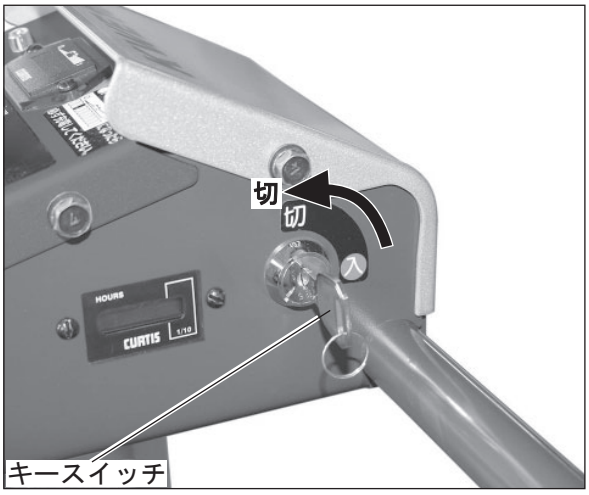
乗用運転位置



歩行運転位置



③キースイッチを「**切**」位置にします。



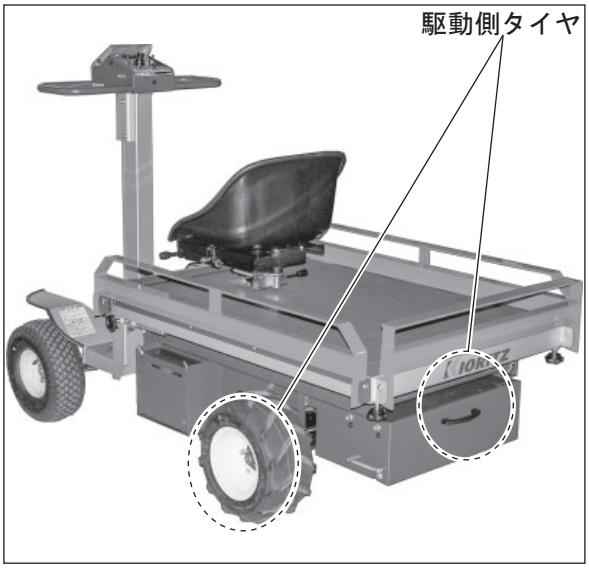
※運搬作業や収穫作業終了後は、必ずキースイッチを「**切**」位置にしてください。バッテリが放電します。インジケータはキースイッチの切り忘れ防止のためのランプです。

※ブレーキの効きが悪くなったり、ブレーキ部から異音がでたりする場合は、お近くの販売店・ＪＡに相談してください。

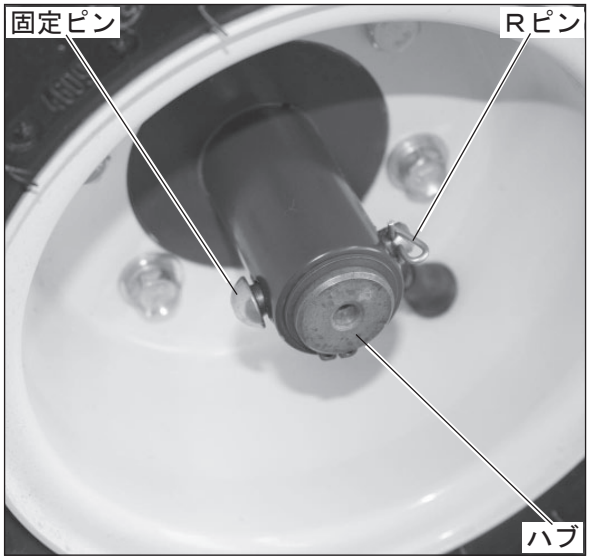
故障やバッテリがあがった場合

故障やバッテリがあがったときなど走行できなくなった場合、次の要領で本製品を動かしてください。

①駆動側の左右どちらか一方のタイヤのハブの固定ピンを止めてあるＲピンを抜きます。



②固定ピンをハブから引き抜きます。



③手で押して本製品を動かしてください。

④移動後は、固定ピンとＲピンを元通りに確実に取付けてください。

取扱いの注意

●緊急時以外は、固定ピンを抜かないでください。ブレーキが効きません。特に傾斜地では絶対に固定ピンを抜かないでください。抜いたまま動かすと事故をおこすおそれがあります。

駐車のしかた

⚠注意

●駐車するときは、平坦で堅固な場所に止めてください。やむを得ず傾斜地に置く場合は、必ず車止めをしてください。

４．作業のしかた

⚠危険

●積載物は荷台からはみ出さないようにしてください。荷崩れをおこし転倒・転落事故をおこすおそれがあります。

●最大作業能力１２０kg（荷台に乗る作業者の全体重を含む）以上は荷物を積まないでください。また、積荷をした状態では、必ず荷台を完全に下げて走行してください。転倒や機械が破損して思わぬ事故をおこすおそれがあります。

●積荷が高くなると機械のバランスが崩れやすく、また障害物の確認ができません。積荷は高く積まないでください。コンテナで２段積み、その他は腰の高さまでとしてください。また積荷はかたよった積み方をしないでください。バランスよく積んでください。荷崩れをおこし、転倒・転落により思わぬ傷害事故の原因となります。

⚠警告

●積載物は確実にロープを掛けて固定してください。荷崩れをおこし転倒・転落事故をおこすおそれがあります。

●坂道では積荷の重量を軽くして、安全に走行してください。

●坂道では荷物の積込み、積降しはしないでください。本製品の前後バランスが崩れたり、荷崩れをおこし、思わぬ傷害事故の原因になるおそれがあります。

⚠注意

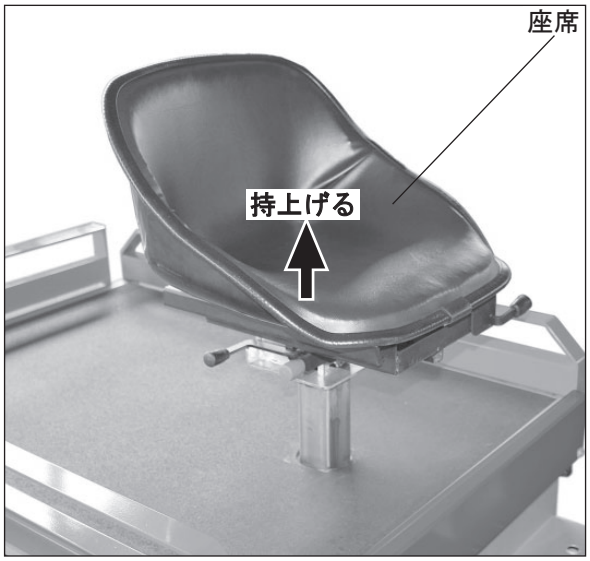
●荷台には人を乗せないでください。転落などにより、思わぬ傷害事故の原因になるおそれがあります。

●作業中、木や枝などにはさまれないように注意してください。

荷台の使いかた

座席の外しかた

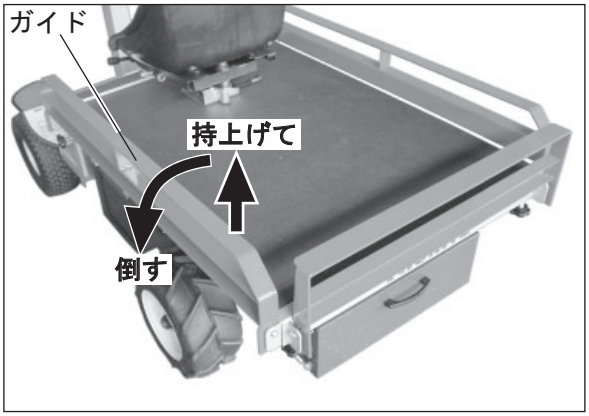
荷台全部に荷物を載せる場合は、座席を一番下まで下げ、荷台から座席を持ち上げて取外してください。





ガイドの倒しかた

荷物を積込むときにガイドを広げると便利です。左右と後側のガイドを持上げながら外側に倒します。





※ガイドを元に戻すときは、ガイドを持上げて立てると元に戻ります。ハンドル側のガイドもボルトをゆるめて元通りに取付けてください。

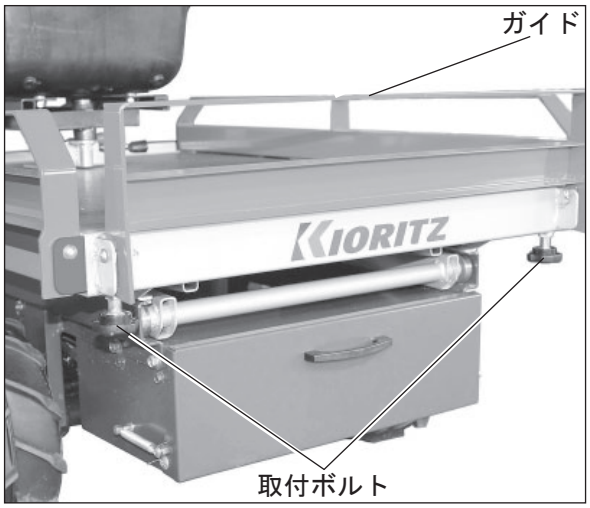
取扱いの注意

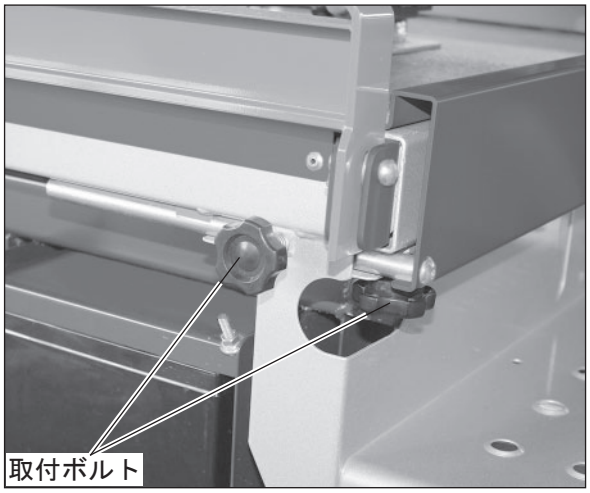
●ガイドを倒したままで、走行しないでください。

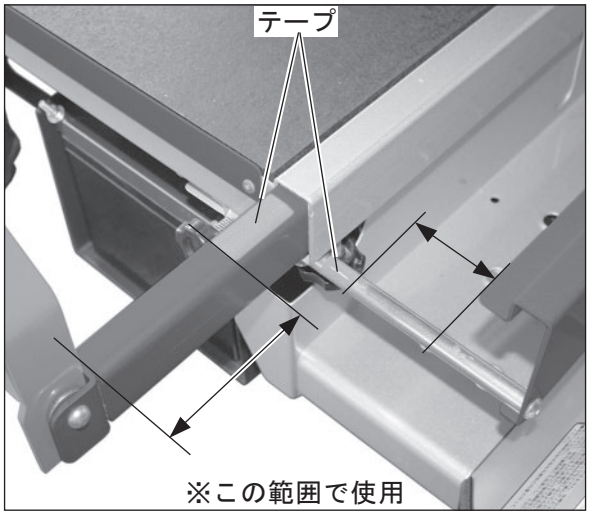
●ガイドの上に人が乗ったり、荷物を載せたりしないでください。転落や荷物の落下で事故につながります。

ガイドの引出しかた

荷台下の前と後の取付ボルト（6ヶ）をゆるめて、ガイドを引出します。ガイドに張り付けてあるテープが出てくると引出しすぎです。テープが出てこないように希望の位置で取付ボルトを締付けてください。。







※ガイドは、引出し過ぎると取付ボルトの締付けができなくなり危険です。
引出して使用する場合は、赤いテープが見えない位置まで入れて確実に取付ボルトを締付けてください。





取扱いの注意

●ガイドの上に人が乗ったり、荷物を載せたりしないでください。転落や荷物の落下で事故につながります。

リフト操作のしかた

⚠危険

●傾斜地での使用限度角度は１０度以内で使用してください。守らないと、転倒し重大な傷害をまねくおそれがあります。

●リフトしたままでの走行はしないでください。転倒・転落により思わぬ傷害事故の原因となります。

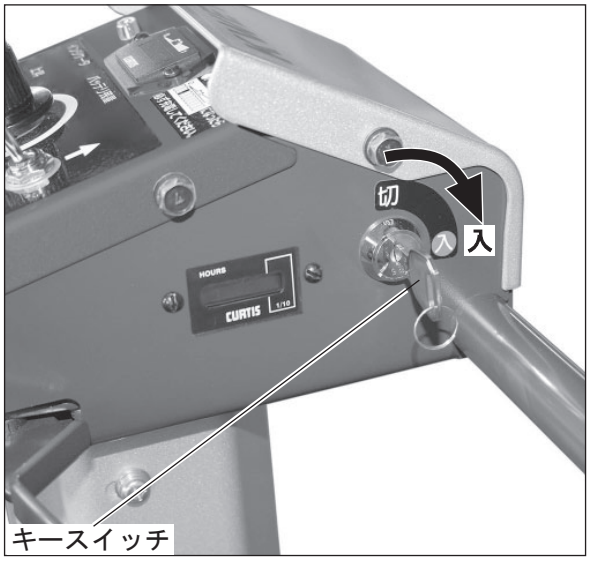
●座席に上って作業はしないでください。転倒・転落により思わぬ傷害事故の原因となります。

⚠警告

●荷台をリフトした状態のときに、過負荷でサーキットブレーカが作動したり、バッテリの容量不足になり機械が停止した場合、本製品から飛び降りないでください。近くにいる人を呼び助けを求めてください。転倒・転落により思わぬ傷害事故の原因となります。

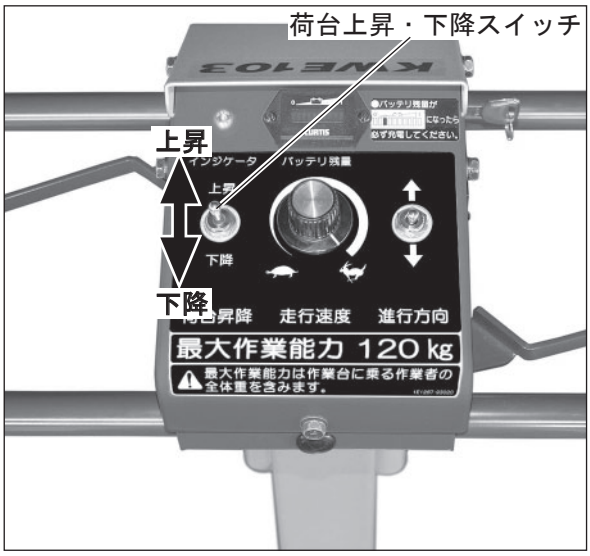
●荷台への乗降は、必ず荷台を一番下に下げてから行ってください。転倒・転落により思わぬ傷害事故の原因となります。

①キースイッチを「入」位置にします。



②荷台上昇・下降スイッチを「上」の方に操作して荷台をリフトさせます。

③荷台を下げたいときは、荷台上昇・下降スイッチを「下」の方に操作してください。





④リフトしたまま作業をするときや、作業を終了したときはキースイッチを必ず「切」位置にしてください。

※荷台がリフト状態では、機体の転倒を防止するために高速運転ができません。荷台を最下位の位置に降ろした状態で高速運転をしてください。

取扱いの注意

●走行中のリフト操作はしないでください。

●リフト操作をするときは、停止して行ってください。

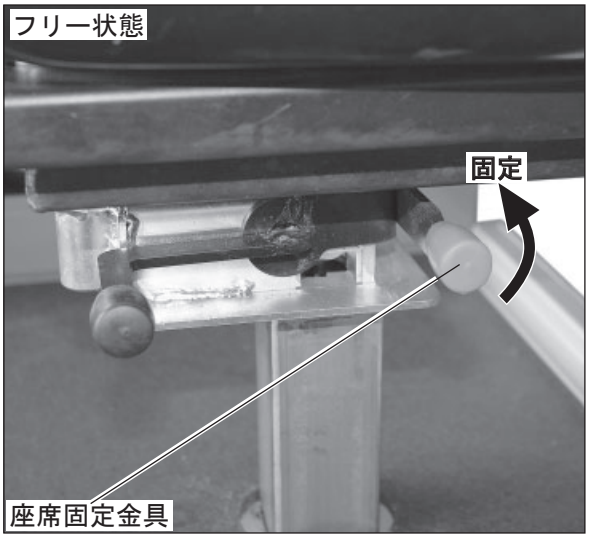
●昇降の上下端では、油圧回路の安全弁が作動する音がしますが、異常ではありません。昇降が停止したら荷台上昇・下降スイッチの操作は止めてください。また、荷台昇降用シリンダーの安全弁を長時間作動させると故障の原因になりますので、過度の操作や、無理な操作は避けてください。上昇・下降の途中で異音がしたら、販売店・ＪＡに相談してください。

座席の使いかた

作業中に座席をフリーの状態にして３６０度回転させながら座った状態で作業をする事ができます。

①座席固定金具の握りを矢印の方向に下げると解除になります。





②作業が終了したら座席固定金具を元に戻して座席をハンドル側に向けると座席が固定されます。

取扱いの注意

●走行時は、必ず座席を固定してください。解除の状態で乗用運転をすると本製品から転落するおそれがあります。

５．坂道での運転のしかた

⚠危険

●坂道や傾斜地では、乗車運転は絶対にしないでください。必ず歩行運転をしてください。転倒・転落するおそれがあります。

⚠警告

●坂道では、適正な速度で走行してください。

●坂道では、進行方向切換スイッチを操作しないでください。坂を登りつめてから操作してください。

●坂道では駐車をしないでください。守らないと本製品が坂をすべり落ちて、事故をおこすおそれがあります。

●坂道では、スピードに十分注意して、ゆっくりと走行し、急な下り坂では走行速度調整ダイヤルを低速側にしてください。

●上り坂で発進する場合は、走行速度調整ダイヤルを低速にしてゆっくり発進してください。急発進すると、前側がはね上がり大変危険です。

６．樹園への出入りのしかた

⚠警告

●樹園への出入り、あぜ越えや段差を乗り越えるときは、十分強度のあるあゆみ板を使用し、荷物は積まないで、重心を低くしてください。

●急な傾斜は､歩行運転で登る場合は**「前進」**で、下る場合は**「後進」**の低い速度でゆっくり行ってください。

取扱いの注意

●樹園への出入りは、樹園にたいして直角に出入りしてください。

７．トラックへの積込み・積降しのしかた

⚠警告

●積込み、積降しの場所は、交通の安全が確保でき、平坦で安定した場所を選んでください。思わぬ事故やけがをまねくおそれがあります。

●トラックはエンジンを止め、動かないようにサイドブレーキを掛け、**「車止め」**をしてください。

●使用するあゆみ板は、幅、長さ、強度が十分あるスリップしないものを選び、あゆみ板が外れないように、フックをトラックの荷台にしっかり掛けてください。

●荷台を下まで一杯下げて、荷物は積まないでください。

●本製品に乗っての運転は厳禁です。

●誘導者は、機械の直前に立たないでください。機体が不意に動いたときに思わぬ事故やけがをまねくおそれがあります。

●トラックへの積込み、積降しは、あゆみ板の上で進路変更をすることがないように進路を定めて最低速度で行ってください。進路を変えるためのハンドルの操作は絶対にしないでください。守らないと転落などの事故をおこすおそれがあります。

●積込みは歩行運転の**「前進」**、積降しは**「後進」**で、走行速度調整ダイヤルは**「低速側」**にし、ゆっくりと行ってください。守らないと転倒・転落による事故やけがをまねくおそれがあります。

●本製品があゆみ板とトラックなどの継目を越えるときには、急に重心が変わりますので、十分に注意してください。転倒・転落による事故やけがをまねくおそれがあります。

●トラックなどに積んで移動するときは、荷台は、必ず最下位置にし、荷物は積まないで、十分強度のあるロープを使用し、確実に固定し、さらに**「車止め」**をしてください。守らないと、機械の転落や、運転席への突込みによる重大な事故やけがをまねくおそれがあります。

①周囲に危険物のない、平坦な場所を選びます。

②基準に合ったあゆみ板を用意します。

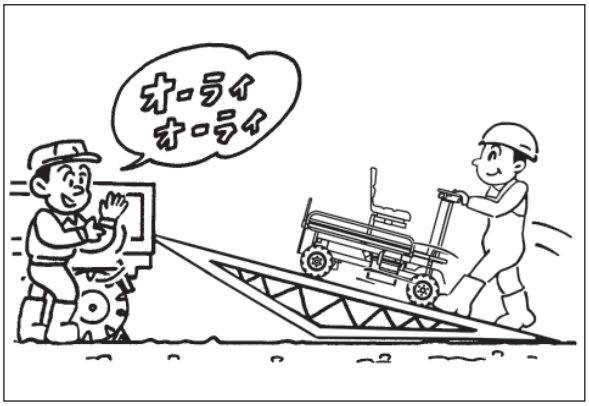
《あゆみ板の基準》

あゆみ板は、基準にあった十分強度のあるものをご使用ください。
●長さ…トラックの荷台高さの４倍以上
●幅……本製品のタイヤ幅の 1.5 倍以上
●強度…本製品の総重量に十分耐えられるもの
（1 本当たり）
●表面…すべり止めのあるもの
●形状…固定フックのあるもの

③あゆみ板のフックを、トラック荷台と段差のないように確実に掛けてください。

④左右のタイヤがあゆみ板の中央に位置するように、本製品をセットしてから積込み、積降しを行ってください。

⑤積込みの場合は**「前進」**で、積降しの場合は**「後進」**の低い速度で行ってください。



5章 作業後の手入れについて

⚠警告

●お手入れは、平坦な安定した場所で行ってください。守らないと機械が転倒して、思わぬけがをするおそれがあります。

●格納時は平坦で安定した場所に置いてください。やむを得ず傾斜地に置く場合は必ず「車止め」をしてください。本製品が自然に動いて事故になります。

⚠注意

●お手入れは、キースイッチを**「切」**位置にしてから行ってください。守らないと思わぬけがをするおそれがあります。

●近くに燃えやすいものがあれば取除いてください。火災の原因になります。

1．作業後の手入れ

その日の内に乾いたブラシなどで、異物やゴミなどを落としてから、よく絞った濡れ雑巾などで汚れをふき取り、各回転・摺動部に油をたっぷり差してください。

取扱いの注意

●本製品は水洗いをしないでください。電装品に水が掛かると故障の原因となります。

２．長期間使用しない場合の手入れ

⚠危険

●バッテリ充電中は、発熱しますので風通しの良い場所で行ってください。

⚠注意

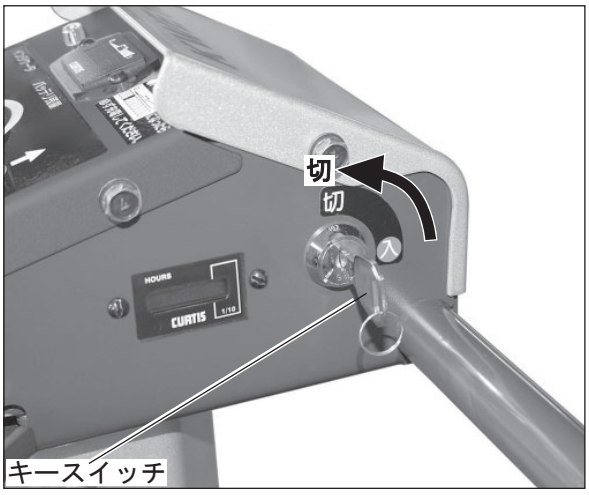
●格納する場合は、キースイッチを**「切」**位置にし、キーは抜取って、屋内に格納してください。

①タイヤに付着した泥や異物などは取除き、タイヤの下には板を敷いてから格納してください。

②外部の錆びやすい部分に、防錆油または、グリスを塗ってください。

③乾燥した風通しの良い所で、荷台は、降ろした状態にしてください。

④キースイッチは**「切」**位置にし、キーは抜取り保管してください。



⑤バッテリは完全充電してください。

取扱いの注意

●バッテリは使わなくても自然放電します。１ヶ月に１度は完全充電してください。
（Ｐ２７参照）

●本製品は屋外に放置しないでください。電気部品の故障の原因になります。

⚠危険

●荷台を上げて点検、整備をするときは、キースイッチを「**切**」位置にしてから行ってください。何らかの原因で荷台が落下し、傷害事故をおこすことがあります。

⚠警告

●点検、整備は交通の危険がなく、本製品が倒れたり動いたりしない平坦な安定した場所で、タイヤに車止めをして行ってください。守らないと、転倒などの事故をおこすおそれがあります。

⚠注意

●１年毎に定期点検、整備を受け、各部の保守をしてください。特に電気配線は毎年点検してください。守らないと、整備不良による事故や機械の故障をまねくおそれがあります。

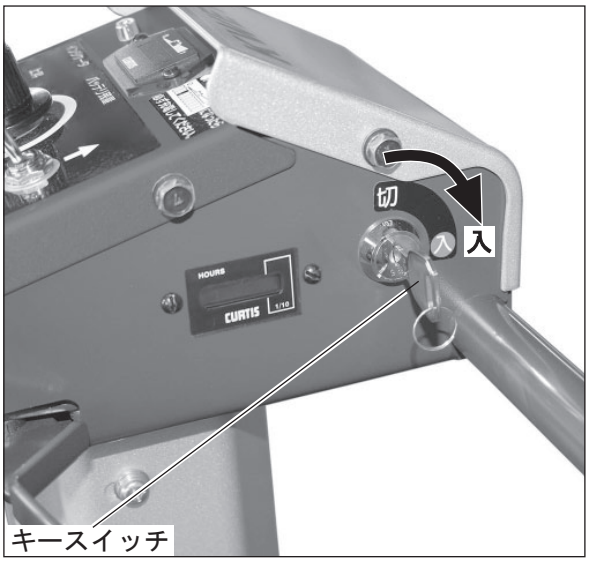
●点検、整備などで取外したカバー類は、必ず取付けてから作動確認をしてください。衣類などが巻込まれて危険です。

定期点検や整備は、シーズンオフに行いますとシーズン中に機械の性能が十分に発揮され、安全で快適な作業が行えます。機械の整備不良による事故を未然に防止するために、１年毎に販売店・ＪＡで定期点検、整備を受け、各部の安全を確認してください。特に電気配線は毎年点検するようにして、常に機械を最良の状態で安心して作業が行えるようにしてください。

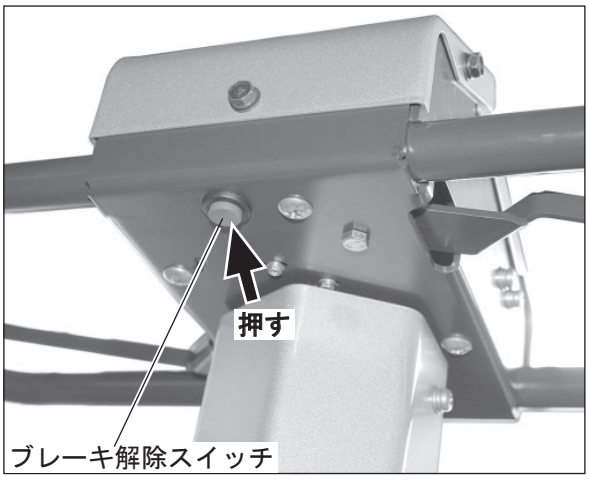
点検時などでの移動のしかた

点検、整備をするときなどに、わずかな場所移動をさせたいときは、次の要領で操作してください。

①キースイッチを「**入**」位置にします。



②ブレーキ解除スイッチを押しながら本製品を押すと動きます。



１．定期点検一覧表

点検項目		点検時期		内容	参照ページ
		始業前	ｼｰｽﾞﾝ初め		
電装品	バッテリ残量計	○	○	点灯の確認	２６
	充電機		○	充電時の動作確認	２７
	配線の断線、接続部のゆるみ	○	○	配線部や接続部に異常がないか確認	４７
	ヒューズ切れ	○	○	ヒューズが切れてないか確認	４８
	走行レバーの作動	○	○	発進、停止の確認	３１
	進行方向切換スイッチの作動	○	○	進行方向の確認	３１
	荷台上昇・下降スイッチの作動	○	○	荷台の昇降の確認	３７
タイヤ	空気圧	○	○	前後共 120kPa	５０
	亀裂および損傷	○	○	タイヤに釘等が刺さっていないか、亀裂がないか確認	５０
	タイヤホイル取付ボルトの締付	○		取付ボルトがゆるんでいないか確認	５１
モータ付ミッション	オイル漏れ、オイル量	○	○	ＳＡＥ 10Ｗ-30（0.65L）	４７
	固定ピン、Ｒピンの異常	○	○	固定ピン・Ｒピンが変形、脱落していないか確認	３４
	走行時の異音	○	○	ミッション・モータから異常な音がないか確認	３２
	ブレーキの効き具合	○	○	その場に止まることの確認	３３
シリンダー	昇降時の異音	○	○	上昇・下降の途中で異音がしないか確認	３８
ハンドル	操向時の異音	○	○	ハンドルを操作したときに遊びや異常なガタがないか確認	－
座席	スライド	○	○	摺動部に注油	４６
	座席固定金具	○	○	固定金具の不具合	３８
	高さ調整	○	○	摺動部に注油	４６
フレーム	腐食、破損		○	フレーム、足まわりなどに腐食や破損がないか確認	－

２．定期交換部品

機械を安全に、長時間使用していただくために、定期的な点検、整備を必ず実施してください。（Ｐ 44 参照）

●安全性をより高めるために、特に安全面に関係の深い下記部品について、定期的にアワーメータで時間を確認したうえで交換してください。これらの部品は経時的に材質が変化したり、繰返し使用されることにより、劣化、摩耗、疲労をおこします。これが原因で重大な人的および物的災害が発生するおそれがあります。しかも運転感覚や外観検査ではこれらの部品の残存寿命を判定するのが難しい部品です。また、交換時期以前でも定期的な点検、整備で異常が認められた場合には同様に交換してください。部品の交換は、お買上げいただいた販売店・ＪＡにご依頼ください。

定期交換部品

部品名	部品番号	交換時期	参照ページ
シリンダーピンＡ	２６１１７－１４０５０４	3000 時間（または３年）	５１
シリンダーピンＢ	１Ｅ１２６７－６８１００	3000 時間（または３年）	５１
アーム支点軸Ａ	１Ｅ１２６７－６８０８０	4000 時間（または４年）	５１
アーム支点軸Ｂ	１Ｅ１２６７－６８０９０	4000 時間（または４年）	５１
アウターアーム	１Ｅ１２６７－６８０６０	7000 時間（または７年）	５１
支点ボルトＡ	２６２０６－１４０７５２	7000 時間（または７年）	５１
インナーアーム	１Ｅ１２６７－６８０００	7000 時間（または７年）	５１



３．各部の注油のしかた

⚠注意

●記載されている以外にも、摩擦部や摺動部には必ず注油をしてください。作動不良をまねいて物損・傷害をおこすおそれがあります。

●定期的に油差しで確実に注油をしてください。

〈凡例〉 注油位置



４．走行ミッションオイルの点検・交換のしかた

古くなったオイルは、機械の性能を落とすだけでなく、故障の原因にもなります。定期的に古いオイルを抜取り、新しいオイルを規定量給油してください。

取扱いの注意

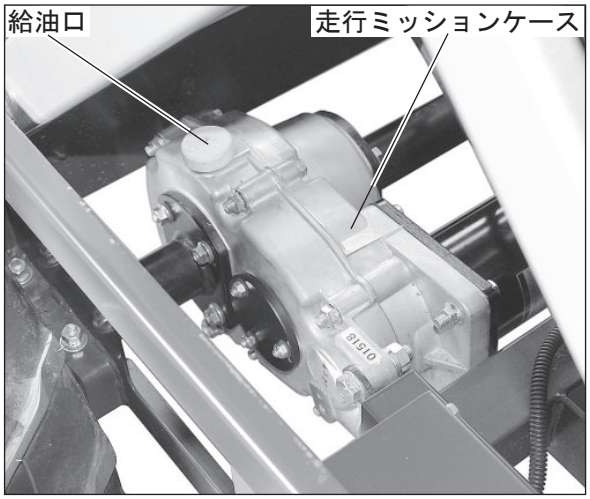
●オイル交換で出た廃油は、絶対に河川や下水道などに流さないでください。河川や下水道に捨てたり放置しておくと、環境汚染につながります。廃油の処分は、販売店・ＪＡに相談してください。

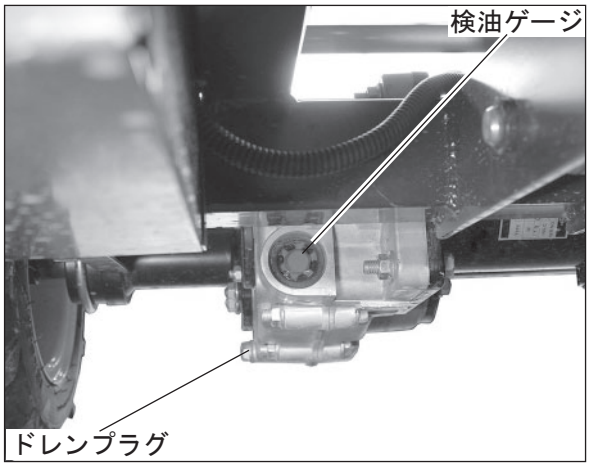
点検

油もれのないことを調べてください。

交換

走行ミッションケース下部にあるドレンプラグを外して、汚れたオイルを流し出し、こぼさないように容器に受けてください。給油は、検油ゲージの中央まで（0.65L）入れてください。



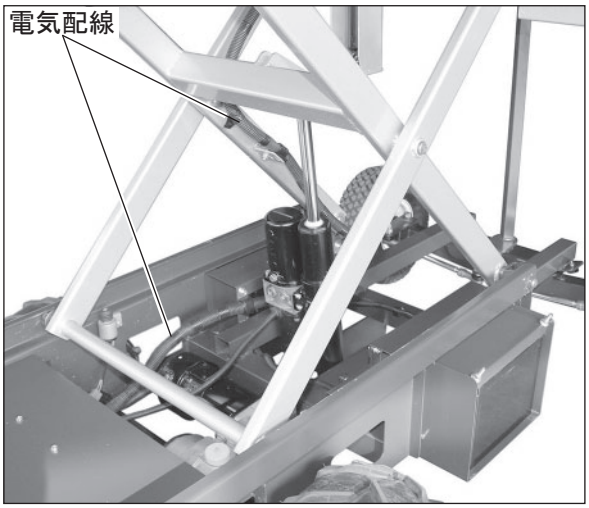


５．電気配線の点検のしかた

⚠注意

●配線コードに付着しているわらくずやゴミは、作業前後にきれいに取除いてください。守らないと、火災の原因となることがあります。

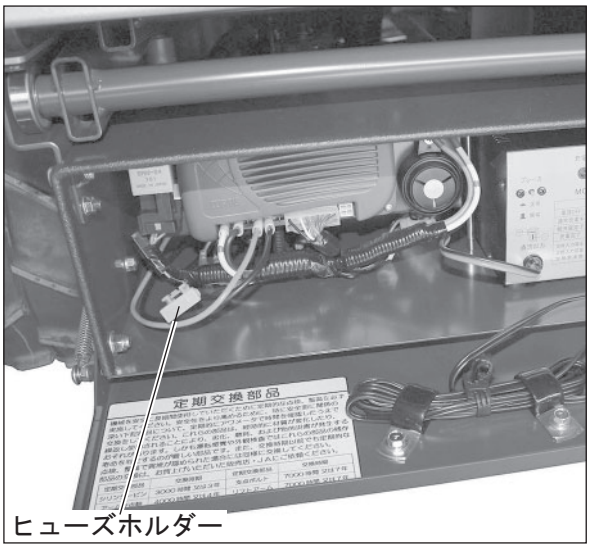
電気配線コードが他の部品に接触していないか点検します。電気配線コードが傷んでいる場合は、販売店または、ＪＡで修理してください。
電気配線は１年毎に定期点検を受けてください。

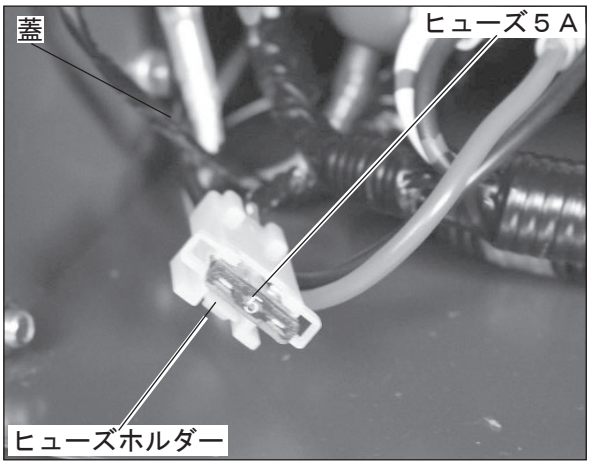


６．ヒューズの点検・交換のしかた

ヒューズは、配線回路（通電している回路）へ過大電流が流れた場合、溶断して電流を遮断します。

電源ボックスの中に、ヒューズホルダーがあります。ヒューズ切れの場合はキースイッチを「切」位置にしてから５Ａのヒューズと交換してください。





取扱いの注意

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のものと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると故障の原因になります。

●ヒューズを交換してもすぐ切れてしまう場合は、お買上げいただいた販売店・ＪＡで点検を受けてください。

７．バッテリの点検・整備、交換のしかた

⚠危険

●バッテリの点検・充電時は火気厳禁です。守らないと引火爆発し、火傷を負うおそれがあります。

●バッテリからコードを外すときは、必ず㊀側から外し、取付けるときは、必ず㊉側から取付けてください。工具などが接触したときにショートして、火傷や火災事故をまねくおそれがあります。

●バッテリを分解したり改造したりしないでください。

●バッテリが破損して電解液が皮膚や衣類に付着した場合、すぐに水で洗い流してください。目に入った場合は、大量の水で洗い流し、医師の診察を受けてください。

⚠警告

●バッテリの充電は、必ず専用の充電器で充電してください。

●バッテリに、亀裂や変形などの損傷、または液漏れしていないか点検してください。もし、異常があればバッテリを交換してください。

●バッテリは、水でぬらし固く絞った布で清掃してください。シンナーなど有機溶剤やオイルなどで拭かないでください。

⚠注意

●バッテリのカバーなどは、はがさないでください。使用出来なくなります。

●バッテリを完全放電させないでください。使用出来なくなる場合があります。

⚠注意

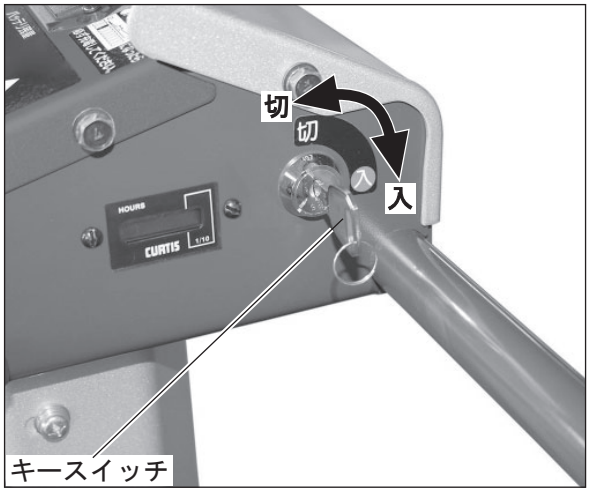
●バッテリの充電中は、バッテリと充電器が発熱しますので、換気を行ってください。守らないと火傷を負うおそれがあります。

●長時間使用しない場合は、満充電にし、製品から取外して乾燥した場所に保管し、一ヶ月に一回充電をしてください。

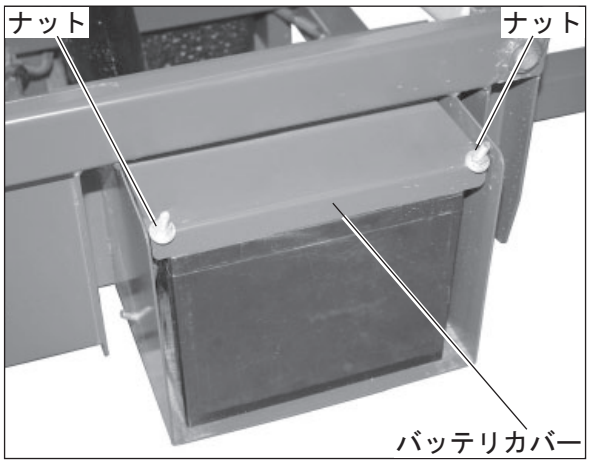
●バッテリは保管中でも、劣化します。性能が保管前に比べて悪くなる場合があります。

バッテリの交換のしかた

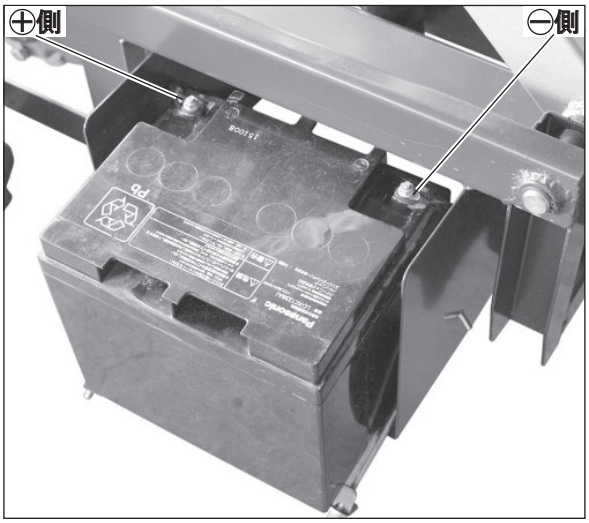
①キースイッチを「入」位置にして荷台をリフトさせてから、キースイッチを「切」位置にします。



②バッテリカバーのナットをゆるめ、カバーを取外してバッテリを取出します。



③バッテリの㊀側のコードを取外し、次に㊉側のコードを取外します。



④新しいバッテリを取付けるときは、取外しの逆の手順で行ってください。

※バッテリを交換するときは、必ず２つ同時に交換してください。

格納のしかた

格納時は、日光が当たらない、乾燥した場所に本製品を水平にして保管してください。

取扱いの注意

●本製品を長時間使用しないときは、最低１ケ月に１回は補充電を行ってください。バッテリが長持ちします。

●取付けのとき、ターミナル接続部の油などを布でふき取り、バッテリ端子を確実に締付けて、腐食防止のためにターミナル部にグリスを塗布してください。

●バッテリを交換するときは、必ず規定のバッテリを使用してください。

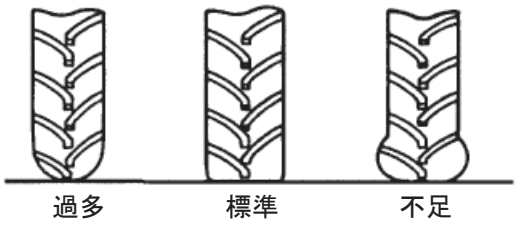
●環境保全のため、交換した古いバッテリは放置したり、捨てたりせずに、新しいバッテリを購入した店へ渡してください。

８．タイヤ空気圧の調整のしかた

⚠注意

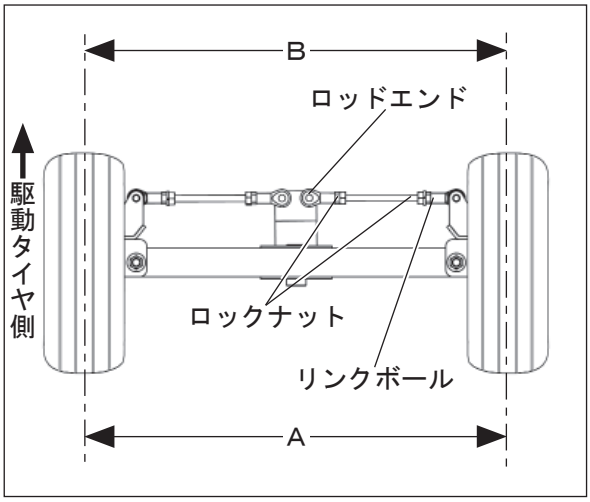
●左右の空気圧が均等になっていないと運転中にハンドルを取られることがあります。タイヤの空気圧を標準空気圧に調整してください。また、タイヤに傷・亀裂などがないか確認してください。

タイヤサイズ	空気圧 KPa (kgf/c ㎡)
前輪タイヤ (TL12 × 4.00-5 2PR A510)	１２０ （１．２）
後輪タイヤ (TL12 × 5.50-6 2PR L970A)	１２０ （１．２）

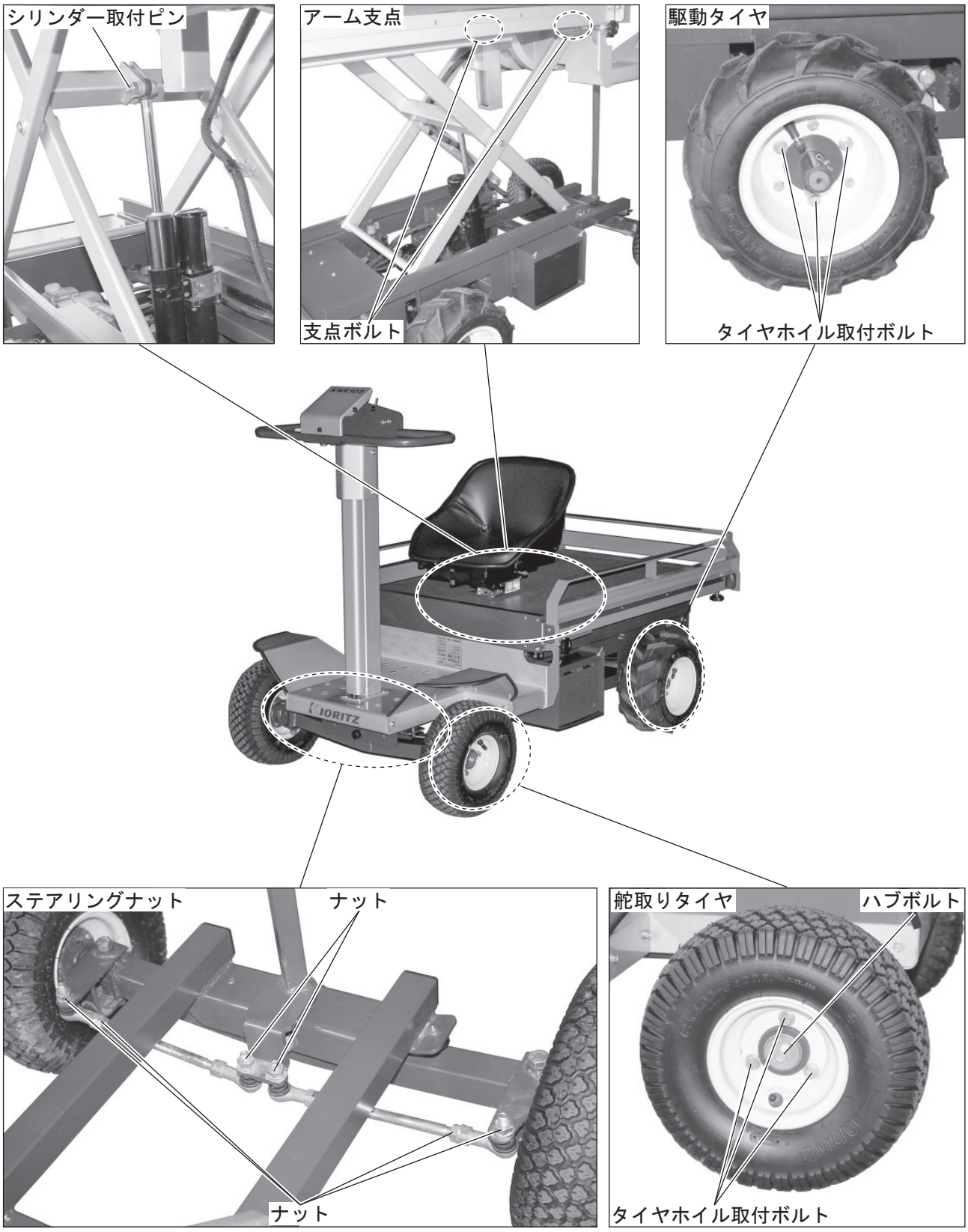


９．トーインの点検・調整のしかた

トーインの調整が悪いと、ハンドルを取られたり異常に振れることがあります。調整は舵取りタイヤのＡ寸法とＢ寸法を測定し、ＡとＢが同寸法であるか調べてください。同寸法でない場合は、お買上げいただいた販売店・ＪＡで必ず点検・調整を受けてください。



10. 締付けするところ



※舵取りタイヤ・駆動タイヤホイル取付ボルト、ハブナットは、左右にそれぞれにあります。
※この他のボルト、ナットも時々点検し、増締めしてください。

⚠警告

●機械の調子が悪いときは、必ずキースイッチを「切」位置にしてから診断してください。守らないと、回転物にはさまれて傷害事故の原因になります。

下記の処置をしても改善されないときは、最寄の販売店・ＪＡに連絡してください。

１．電源が入らない

この確認をしてください。	処　　置	参照ページ
サーキットブレーカが作動していませんか。	切れた原因を取除いて、時間をしばらくおいてから始動してください。	３２
バッテリ電圧が低下していませんか。	バッテリを充電してください。	２７
バッテリの寿命が来ていませんか。	バッテリを交換してください。	４８
走行回路のヒューズが切れていませんか。	ヒューズを交換してください。	４８
電気部品が故障していませんか。	販売店、ＪＡに相談してください。	４７
配線が切れたり、接続部がゆるんでいませんか。		

２．走行しない

この確認をしてください。	処　　置	参照ページ
固定ピンが抜けていませんか。	固定ピンを取付けてください。	３３
電気部品に水が掛かっていませんか。	販売店、ＪＡに相談してください。	４７
配線が切れたり、接続部がゆるんでいませんか。		
コントローラが故障していませんか。		－
バッテリ電圧が低下していませんか。	バッテリを充電してください。	２７
バッテリの寿命が来ていませんか。	バッテリを交換してください。	４８

３．まっすぐ走らない

この確認をしてください。	処　　置	参照ページ
走行関係の不具合ではありませんか。	販売店、ＪＡに相談してください。	―

４．停止距離が長くなった

この確認をしてください。	処　　置	参照ページ
モータ付デフミッションの故障ではありませんか。	販売店、ＪＡに相談してください。	―

５．サーキットブレーカが作動する

この確認をしてください。	処　　置	参照ページ
坂道または、悪路を走行していませんか。	本製品の能力に合った圃場、10 度以下の坂道を走行してください。	３７
積荷が重過ぎませんか。	積荷を軽くしてください。	３４

６．速度が遅くなった

この確認をしてください。	処　　置	参照ページ
モータ付デフミッションが故障していませんか。	販売店、ＪＡに相談してください。	―
タイヤの空気圧が不足していませんか。	空気を入れてください。	５０
積荷が重すぎませんか。	坂道では特に積荷を軽くしてください。	３４
コントローラが故障していませんか。	販売店、ＪＡに相談してください。	―
バッテリ電圧が低下していませんか。	バッテリを充電してください。	２７
バッテリの寿命が来ていませんか。	バッテリを交換してください。	４８

７．荷台が上昇しない

この確認をしてください。	処　　置	参照ページ
積荷が重すぎませんか。	坂道では特に積荷を軽くしてください。	３４
シリンダーが故障していませんか。	販売店、ＪＡに相談してください。	―
配線が切れたり、接続部がゆるんでいませんか。	販売店、ＪＡに相談してください。	４７
バッテリ電圧が低下していませんか。	バッテリを充電してください。	２７
バッテリの寿命が来ていませんか。	バッテリを交換してください。	４８

８．稼動時間が短くなった

この確認をしてください。	処　　置	参照ページ
バッテリ電圧が低下していませんか。	バッテリを充電してください。	２７
バッテリの寿命が来ていませんか。	バッテリを交換してください。	４８

９．充電できない

この確認をしてください。	処　　置	参照ページ
充電器が故障していませんか。	充電器のブレーカボタンを点検してください。それでも充電できない場合は、販売店、ＪＡに相談してください。	２８
バッテリの寿命が来ていませんか。	バッテリを交換してください。	４８

1．主要諸元

型式名			KWE１０３
機体寸法	全長（㎜）		１５３０（前輪タイヤ先端～荷台ガイド後端）
	全幅（㎜）		８２５（荷台ガイドを上げた状態）
	全高（㎜）		１０８０（操作カバー上端）
機体質量（kg）			２００
バッテリ	型式名		ＨＣ３８－１２Ａ
	電圧		１２Ｖ×２
	容量		３８ＡＨ
モータ出力			２４Ｖ／１７５Ｗ
伝動・走行部	駆動方式		後２輪直結駆動（デフ付）
	制動方式		モータ回生制動電磁ブレーキ連動
	変速段数		前進１段　後進１段
	走行速度（km/h）	前進	０～４．７
		後進	０～４．７（０～２．５）※
	前輪タイヤ		ＴＬ１２×４．００－５　２ＰＲ　Ａ５１０
	後輪タイヤ		ＴＬ１２×５．５０－６　２ＰＲ　Ｌ９７０Ａ
	輪距（㎜）	舵取りタイヤ	６８５
		駆動タイヤ	６８０
	軸距（㎜）		９５０
荷台	寸法（㎜）	長さ	９９０～１２８０
		幅	７００～８５０
	最大作業能力（kg）		１２０（作業者の体重含む）
	床面最低高（㎜）		４４０
	床面最大高（㎜）		９９０
乗車定員			１名
実用登坂角度			１０°
連続走行時間			約５時間（1名乗車時）
連続走行距離			２３km（最高速、平坦地、1名乗車時）

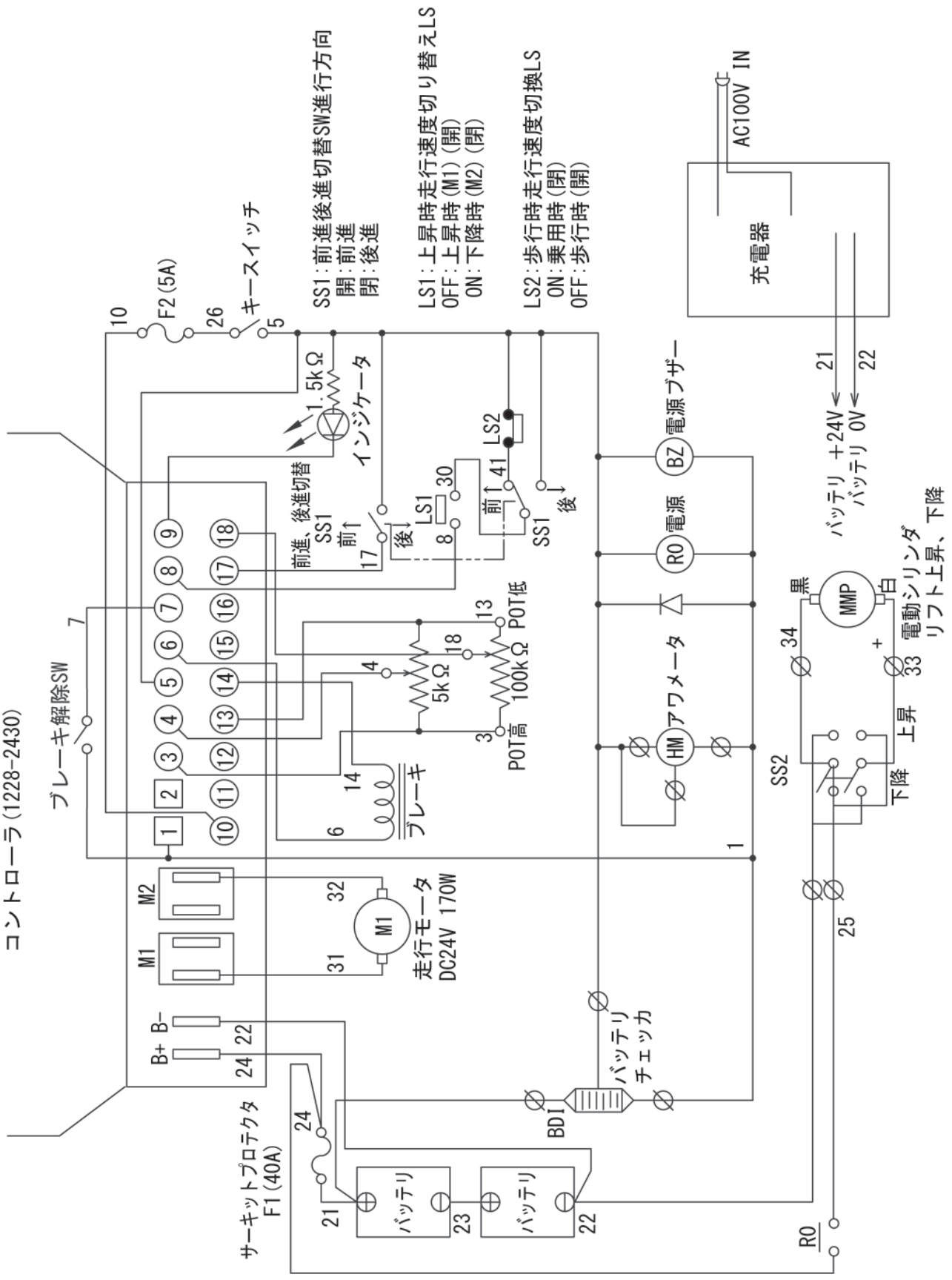
●この仕様は改良などにより、予告なく変更することがあります。
※走行速度の（　）は、歩行運転位置のときの後進の速度です。

２．主要消耗部品

NO.	品名	部品番号	備考
１	バッテリ	１Ｅ１２６７－５１０２０	ＨＣ３８－１２Ａ　２ケ
２	前輪タイヤ	１Ｎ１９９１－３７０００	ＴＬ１２×４．００-５　２ＰＲ　Ａ５１０　２本
３	後輪タイヤ	１Ｅ１１８５－３７０４０	ＴＬ１２×５．５０-６　２ＰＲ　Ｌ９７０Ａ　２本
４	ヒューズ	１Ｅ１１６０－５２０４０	５Ａ

付属品

No.	品名	個数		部品番号	備考
１	取扱説明書	１		１Ｅ１２６７－９５１４０	
２	保証書	１			


コントローラ(1228-2430)
ブレーキ解除SW
7
M2
M1
B+ B-
24 22
32
31
M1
走行モータ
DC24V 170W
2
1
10
F2(5A)
26
キースイッチ
5
SS1:前進後進切替SW進行方向
開:前進
閉:後進
LS1:上昇時走行速度切り替えLS
OFF:上昇時(M1)(開)
ON:下降時(M2)(閉)
LS2:歩行時走行速度切換LS
ON:乗用時(閉)
OFF:歩行時(開)
1.5kΩ
インジケータ
前進、後進切替
SS1
前
後
17
LS1
30
8
LS2
41
前
後
SS1
9
8
7
6
5
4
3
2
1
18
17
16
15
14
13
12
11
10
4
5kΩ
18
13
100kΩ
POT低
3
POT高
6
14
ブレーキ
BZ 電源ブザー
R0 電源
HM アワメータ
1
BDI
バッテリ
チェッカ
AC100V IN
充電器
21
22
バッテリ +24V
バッテリ 0V
黒
白
MMP
34
33
+
電動シリンダ
リフト上昇、下降
SS2
下降
上昇
25
サーキットプロテクタ
F1(40A)
24
21
23
22
バッテリ
バッテリ
R0

株式会社やまびこ

〒 198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0120-176-181(製品・技術的な問い合わせ)
受付時間:弊社営業日　9:00~12:00 / 13:00~17:00

やまびこジャパン株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0428-32-6181（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

(C) 2017 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。